

授業科目名	解剖生理学	担当教官	小林圭一
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	総論	解剖学とは何か？学ぶ意義について講義する。	
2	運動器	骨格系について、総論	
3	〃	各部の骨	
4	〃	〃	
5	〃	筋系について、総論	
6	〃	各部の筋	
7	脈管系	心臓について	
8	〃	各部の主な動静脈について	
9	予備		
10	呼吸器系	鼻腔～喉頭について	
11	〃	気管～肺について	
12	消化器系	口腔～胃について	
13	〃	小腸、大腸について	
14	〃	肝臓、胆のう、すい臓について	
15	前期総まとめ		
16	泌尿器系	腎臓について	
17	〃	腎臓～尿道について	
18	生殖器系	男性生殖器	
19	〃	女性生殖器	
20	内分泌系	内分泌器官について	
21	神経系	中枢神経について	
22	〃	末梢神経について	
23	〃	自律神経について	
24	予備		
25	感覚器系		
26	〃		
27	予備		
28	後期総まとめ	後期 途中2回分(半日)解剖見学実習を行う予定	
テキスト、教材、参考書		入門人体解剖学 南江堂	

授業科目名	解剖生理学	担当教員	澤田只夫
対象学生	1 学年	学期及び曜日・時限	通年
単 位	2 単位	必修	
回	講義題目	内 容	
1	1) 序論	生理学とは、生理学の歴史、血液(血液のはたらき、一般的性質)	
2	2) 骨格筋	筋のあらまし(筋の微細構造と収縮の機構・筋の特性の概要・筋の収縮の種類、電気の発生)	
3		筋のはたらきと変化(筋収縮時の化学変化、筋の緊張)	
4		運動時の身体の変化と筋疲労、筋の神経支配と動作、死硬直	
5		血液の成分、凝固と線溶、赤血球沈降速度	
6	3) 血液・間質液およびリンパ	血液型 (ABO 式、Rh 因子、Rh 型、白血球の型)	
7		間質液およびリンパ、体液の循環と移動 (濾過拡散および浸透圧・毛細血管における体液の移動)、リンパ節と脾臓のはたらき、胸腺	
8		体液のあらまし、体液の組成とpH、体液平衡の障害(アシドーシスとアルカローシス(代謝性/呼吸性))脱水(純粋の水欠乏、ナトリウム欠乏)、浮腫(水腫)、電解質失調の臨床、水と電解質の補充液	
9	4) 体液 と電解質	心臓の拍動(歩調とり、心筋の構造と収縮、心周期、心臓内腔の圧の変動、心音と心雑音、心臓に発生する電気、心尖拍動、心拍数、心拍出量)	
10		心臓の神経支配、血圧(平均血圧と脈圧・血圧の測定・異常・静脈圧・血圧に対する重力の影響)、血流の速度、脈拍	
11	5) 循環	呼吸の調節(呼吸中枢、呼吸の制御異常に関する疾患の理解・新生児と第1呼吸)、呼吸運動(吸息と呼息、呼吸型)、呼吸困難	
12		肺の呼吸機能(肺気量、呼気・吸気・肺胞気と血液ガス、血液の酸塩基平衡と呼吸)、発声、運動 (運動時の酸素摂取、運動によるエネルギー消費量の増加)	
13		1)~6)のまとめ	
14	6) 呼吸	口腔の作用(咀嚼、唾液の分泌、嚥下)、食道の作用・胃の作用(胃の運動機能、胃の分泌機能(胃液))、嘔吐	
15		小腸の作用(膵液、胆汁、小腸の運動機能・小腸の分泌機能 (腸液)、小腸の吸収機能、下痢、腸閉塞(イレウス))	
16		大腸の作用(大腸の運動機能、大腸の分泌・吸収機能・排便・腸内の発酵と腐敗、便秘)、肝臓の作用、胆嚢の作用	
テキスト、教材、参考書			

回	講義題目	内 容
17	8) 腎臓および尿路	尿の生成と腎臓の働き(尿の生成と尿細管における水と電解質の移動、尿量、腎臓の働き、腎臓の疾患)、排尿と尿の成分(排尿のしくみ、尿の成分)
18	9) 内分泌	内分泌のあらまし、下垂体(前葉、後葉、中葉)、甲状腺、上皮小体(副甲状腺)
19		膵臓(インスリンとグルカゴンの分泌)、血糖の内分泌調節、糖尿病
20		副腎(副腎髄質、副腎皮質)、性腺(精巣ホルモン、卵巣ホルモン)、松果体、その他の内分泌様器官
21	10) 神経系	神経細胞の生理(神経細胞の興奮、活動電位の伝導、神経の興奮とシナプス伝達、全か無かの法則、反射とシナプス、神経線維、神経の物質代謝)
22		末梢神経系(脳脊髄神経系(体性神経系)、自律神経系(植物神経系))
23		中枢神経系(脊髄、脳幹、間脳および大脳(基底)核、小脳、大脳皮質、中枢神経系の障害)
24	11) 体温とその調節	体温(体熱の産生と放散)、体温の調節と異常(体温の調節、体温の異常)、発汗
25	12) 感覚器	皮膚感覚、深部感覚、内臓感覚、味覚、嗅覚
26		聴覚および平衡覚(外耳、中耳、内耳、聴覚、音の感覚)
27		視覚(視細胞、視覚の伝導路とその障害、光と色の感覚、順応、外眼筋による眼球運動の調節、眼球に関する反射)
28		1)～12)の総まとめ

授業科目名	体の発生と発達	担当教員	澤田只夫
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期
単位	2単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	生命の基本構造	生命とは、生命の起源、生物をつくる物質(水、糖質、脂質、タンパク質、核酸)、生物の基本単位 細胞(細胞膜、核、細胞小器官(小胞体、ゴルジ体、リソソーム、ミトコンドリアなど)、細胞骨格)	
2		細胞分裂とその調節、染色体、生殖細胞、減数分裂と配偶子形成	
3		性と生殖(生殖器官とその働き、卵の成熟、精子の形成)	
4		発生(精子の移動、精子および卵の受精能、卵と精子の合体、着床、妊娠の維持、分娩)	
5		成長と発達(哺乳、成長、発達、思春期、老化、そして死)	
6	ホルモンとからだ	ホルモンの概念(ホルモンと神経、ホルモンの前駆体と化学、ホルモンと受容体との作用)	
7		性の分化とホルモン(生殖腺の分化、性決定遺伝子、内部生殖器官/外部生殖器官の分化、脳の性分化)	
8			
9	ヒトの遺伝子	ヒトの遺伝学(メンデル性遺伝と突然変異、血液型、DNA と遺伝情報、染色体と先天性異常、正常形質の遺伝、双生児、近親婚)	
10	ヒトの神経系と脳	神経細胞、脊椎動物の中樞、ヒトの脳の構造、古皮質と新皮質、右脳と左脳、脳の本質を知るために、反射と行動	
11	人間性と行動	人間性を培うもの、創造力、人間性の喪失(精神病、ストレス)	
12	ヒトの起源	ヒトの発祥と進化、進化の原動力、人種間の遺伝的差異、人類の未来	
13	生命工学	生命工学の考え方と方法、医学、製薬、農業と生命工学、自然環境と生命工学	
14	病気と予防、健康と生活環境	日本人の疾病構造、健康増進、環境汚染と健康被害の歴史、環境汚染の現状	
15		総まとめ	
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	物理学と看護人間工学	担 当 教 官	苗村 潔
対 象 学 生	1 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期
単 位	2 単 位	選 択	教 室 名
回	講 義 題 目	内 容	
1	オリエンテーション	講義内容の全体像を説明する	
2	介助動作の力学(1)	身体にとって良い動作について学ぶ	
3	介助動作の力学(2)	人間工学的介助の方法について学ぶ	
4	介護動作の力学(3)	腰部に危険な介助動作について学ぶ	
5	温熱の物理(1)	体温測定から室内温度を含めた物理学を学ぶ	
6	温熱の物理(2)	温熱療法を支える物理を学ぶ	
7	循環器系医療(1)	人工心臓の最先端の紹介と看護婦の役割を学ぶ	
8	循環器系医療(2)	循環器系の手術室で使用する機器や看護婦、理学療法士の役割を学ぶ	
9	循環器系医療(3)	(1)(2)で紹介した機器を支える物理学を学ぶ	
10	循環器系医療(4)	(1)(2)で紹介した機器を支える物理学を学ぶ	
11	医療事故(1)	安全確保の方法を物理学と関連付けて学ぶ	
12	医療事故(2)	医療機器の基本構成を把握し、取り扱い説明書の見方を学ぶ	
13	臍帯血医療	臍帯血医療の実際と支える物理学を学ぶ	
14	脳神経医療	脳神経外科手術と看護婦、理学療法士の役割を学ぶ	
テキスト、教材、参考書		テキスト: プリント形式で配布 参考書: “看護動作を助ける基礎人間工学”小川、東京電機大学出版局 ほか	

授業科目名	栄養学	担当教官	澤田孝子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期
単位	1単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	代謝	異化と同化	
2		糖質代謝	
3		脂質代謝	
4		アミノ酸代謝	
5		蛋白質の生合成、DNAの複製と遺伝子組換え	
6		電解質代謝、エネルギー代謝と生体酸化還元	
7	疾病と栄養 (臓器の栄養生化学)	消化器系	
8		循環器系	
9		呼吸器系	
10		泌尿器系	
11		内分泌系	
12		神経系	
13	食事指導 (疾患の栄養生化学)	糖尿病、虚血性心疾患	
14		腎疾患、肝硬変、胃切除術後	
15		経管栄養と高カロリー輸液	
テキスト、教材、参考書		ナースのための生化学・栄養学(南山堂)、参考書 わかりやすい栄養学(廣川書店)	

授業科目名	生化学	担当教員	澤田只夫	
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	後期	
単位	1単位	必修	教室名	
回	講義題目	内 容		
1	1)序 論	1. 生化学とは 2. 生体分子 元素間の結合 分子量や濃度の表し方 生体の構成物質		
2	2)細胞の基本構造 と機能	3. 細胞の基礎 4. 生体膜 5. 細胞骨格 6. 細胞小器官		
3	3)生体成分の構造と機能	7. 糖質		
4		8. 脂質		
5		9. アミノ酸と蛋白質 10. 核酸 11. ビタミン		
6	4)代 謝	12. 酵素と代謝		
7		13. エネルギー代謝とその調節		
8		14. 糖質の代謝		
9		15. 脂質の代謝		
10		16. アミノ酸と蛋白質の代謝 17. 代謝のまとめ		
11		18. ヌクレオチドの代謝		
12		19. ポルフィリンと胆汁色素の代謝 20. 水と無機質の代謝 21. 酸塩基平衡		
13		5)核酸と蛋白質の生合成	22. 核酸の構造と機能	
14			23. DNA の複製 24. DNA の修復 25. RNA の合成	
15	26. 蛋白質の生合成			
13	6)がんの生化学	27. 遺伝の生化学		
14		28. 細胞周期と増殖 29. アポトーシス		
15		30. 発がんの分子機構とがん遺伝子 総まとめ 学期末試験		
テキスト、教材、参考書		教科書:コンパクト生化学(大久保岩男/賀佐伸省著)南江堂 プリント 参考書:		

授業科目名	健康科学	担当教官	近藤照彦
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	前期 オリエンテーション(教室)	教官紹介、目標、健康手帳の解説、問診票、ライフスタイル調査、健康診断ガイドンス	
2	コンディショニング	ウォーキング	
3	コンディショニング	12分間走テストオリエンテーション、ストレッチング	
4	コンディショニング		
5	12分間走テスト(グラウンド)	12分間走テスト(グラウンド)	
6	予備日	12分間走テスト(グラウンド)	
7	選択スポーツ	バレー、バスケ、テニス、ソフト、トレーニングルーム、グラウンドゴルフなど各自、好む種目を選択してスポーツする。	
8	"		
9	"		
10	"		
11	"		
12	"		
13	"		
1	後期 オリエンテーション(教室)	講義と選択スポーツの解説 評価について	
2	講義(教室)	骨系	
3	選択スポーツ		
4	講義	骨系	
5	選択スポーツ		
6	講義	筋系	
7	選択スポーツ		
8	講義	筋系	
9	選択スポーツ		
10	講義	呼吸系	
11	選択スポーツ		
12	講義	循環系	
13	試験	骨格・筋肉・呼吸循環系より国試対策として試験を行う。	
テキスト、教材、参考書		解剖生理学テキスト、プリント配布	

授 業 科 目 名	心理学の基礎	担 当 教 員	北川公路
対 象 学 生	1 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期
単 位	2 単 位	必 修	教 室 名
回	講 義 題 目	内 容	
1 2	心理学とは 心理学の研究法	心理学とはどういう学問かを知るために、心理学の歴史と心理学で用いられる方法について理解する	
3	感覚と知覚	人間や動物が環境に適応して行動し生活していくには、環境の状況を知る必要がある。その認知機能にについて理解する。	
4・5	学習と記憶	人間の大きな特徴は環境にあわせて行動を変容し、経験を記憶して、その後の生活に役立てることである。人間が築いてきた文化を子孫に伝えるための教育や訓練の基本原則であることを理解する。	
6	意識・思考・言語	認知科学と大脳生理学	
7	動機づけと情動	人間や動物の行動には、何らかの動機がある。周囲の状況がまったく同じであっても、同じ人間が行う行動はときにより異なること、また、人間は心の中で感じるだけでなく表情に現れ、行動に反映し、身体的変化も生ずることを理解する。	
8・9	発達	人間がどのようにして知覚や知能を身につけるか、人間の発達について理解する。	
10 11	性格	同じ環境、同じ場面におかれても人間が違えば行動が違うことを理解する。	
12	対人関係	人間は他者との関わりの中に生きている。ここでは社会心理学の研究成果を概観する。	
13 ~ 15	精神障害	様々な精神障害を理解する。	
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	国文学入門('00)	担 当 教 官	堀 信夫・野山嘉正
対 象 学 生	1・2 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期
単 位	2 単 位	選 択	
回	講 義 題 目	内 容	
1	国文学とは		
2	上代文学()		
3	上代文学()		
4	平安文学()		
5	平安文学()		
6	中世文学()		
7	中世文学()		
8	近世文学()		
9	近世文学()		
10	日本漢文字の流れ		
11	日本演劇		
12	近代文学()		
13	近代文学()		
14	近代詩歌		
15	結びに代えて		
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	教 育 学	担 当 教 官	平形作太郎
对 象 学 生	1学年	学期及び曜日・時限	後期・水曜 限
单 位	2単位	選 択	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
		講義中に提示する	
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	カウンセリング論	担 当 教 員	北川公路
対 象 学 生	2学年	学期及び曜日・時限	前期
単 位	2単位	選 択	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1 ~ 3	臨床心理学の基本的 発想	臨床心理学とは何か 臨床心理学の考え方 発達の視点からみた臨床心理学	
4	カウンセリングとは何か	カウンセリングの特徴 自己開示と隠蔽 会話の質と対人関係の質	
5 ~ 8	カウンセリングの 理論と方法	クライアント中心療法 行動カウンセリング 認知行動カウンセリング	
9	カウンセリング実習(1)	傾聴訓練・紙上応答	
10	カウンセリングと心理テスト	カウンセリングにおける心理テストの意義と役割 心理テストの種類	
11 ~ 14	カウンセリング実習(2)	ビデオ教材による実習 ロールプレイ	
15	心理面接の実際	看護者による心理面接の実際 家族へのアプローチ エイズカウンセリング 臓器移植に伴う心理的問題	
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	現代人のための哲学('00)	担 当 教 官	渡邊二郎
対 象 学 生	1 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期
単 位	2 単 位	選 択	
回	講 義 題 目	内 容	
1	現代とはどういう時代か		
2	科学とは何か		
3	技術の光と影		
4	自然の生命の大切さ		
5	脳と心		
6	人間の内面性		
7	生きる根拠		
8	悪の問題		
9	行為の規範		
10	人生の苦悩について		
11	情念の問題		
12	死について		
13	歴史のゆくえ		
14	祈りと希望		
15	神は存在するか		
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	日本の文化と思想('98)	担 当 教 官	大隅和雄
対 象 学 生	1 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期
単 位	2 単 位	選 択	
回	講 義 題 目	内 容	
1	日本文化史の見方		
2	神々の祭りとは日本神話		
3	仏教の伝来と受容		
4	律令制度と官人の学問		
5	かな文字の成立と国文学		
6	仏教の革新と庶民への浸透		
7	公家と武家の文化		
8	芸能の成熟		
9	儒教とその日本化		
10	国学と洋学		
11	町人文化とその思想		
12	知識人と西欧の思想		
13	日本中心の思想		
14	近代日本の諸宗教		
15	国際社会における日本文化		
テキスト、教材、参考書			

授業科目名	情報処理入門	担当教官	西谷 泉
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期 月曜 限、 限
単 位	2単位	選 択	教室名 情報処理教室
回	講義題目	内 容	
		<p>現在は高度情報化社会である。医療看護の世界にも情報化の波は着実に押し寄せており、今後医療関係の世界で活躍する本学の学生にとって、情報科学、情報処理、コンピュータの知識と技術の修得は必要不可欠なものとなっている。</p> <p>本講義と演習は連続した内容である。よって、情報処理入門と情報処理入門演習は続けて履修すること。この講義の中では、Word、Excelを使用して、主に情報処理の基本的な知識、コンピュータを活用した文書作成の基本知識と技術、統計学の基本知識などについて理論と実習の指導を行う。</p> <p>(授業計画)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報、情報処理の基礎的知識 2. Windowsの基礎知識 3. Word入門 4. 文字入力 5. 文書入力、文書の作成 6. 文書の訂正、修正 7. 文書の編集 8. 文書と表の結合 9. 計算機能 10. ビジュアルな文書の作成 11. インターネットの活用 12. 課題作成 13. Excelの基礎知識 14. Excel入門 15. ワークシートの活用 16. 試験 <p>本講義は「情報処理入門演習」と連携して進めるので、「情報処理入門演習」も必ず受講すること。</p> <p>本講義を受講するにあたり、情報処理やコンピュータについての予備知識を多くに必要としない。</p> <p>試験・課題・出席状況を総合的に判断して、成績評価を行う。詳細は、講義の中で説明する。</p>	
テキスト、教材、参考書	30時間でマスターシリーズ「word2000」「Excel2000」		

授業科目名	情報処理入門演習	担当教官	西谷 泉
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	後期 月曜 限、 限
単 位	2単位	選 択	教室名 情報処理教室
回	講義題目	内 容	
		<p>現在は高度情報化社会である。医療看護の世界にも情報化の波は着実に押し寄せており、今後医療関係の世界で活躍する本学の学生にとって、情報科学、情報処理、コンピュータの知識と技術の修得は必要不可欠なものとなっている。</p> <p>本演習は情報処理入門に続くものである。よって、情報処理入門と情報処理入門演習は続けて履修すること。この演習の中では、Excel、PowerPointを使用して、主にデータ処理の基礎知識と方法、研究成果の発表等のためのプレゼンテーションの基礎知識と方法技術などについて理論と実習の指導を行う。</p> <p>(授業計画)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 統計学の基礎 2. Excelの基本 3. 合計、平均の計算 4. 関数の活用 5. 最大・最小 6. グラフ作成の基本 7. 様々なグラフ 8. データベースの基本事項 9. データのソート、検索、集計 10. WordへのExcelの埋め込み 11. PowerPointの基礎 12. プレゼンテーションの基本事項 13. プレゼンテーションの作成 14. 研究課題作成 15. 研究課題の発表(プレゼンテーションの実習) 16. 試験 <p>本講義は「情報処理入門」と連携して進めるので、「情報処理入門」も必ず受講すること。</p> <p>本講義を受講するにあたり、情報処理やコンピュータについての予備知識を多くに必要としない。</p> <p>試験・課題・出席状況を総合的に判断して、成績評価を行う。詳細は、講義の中で説明する。</p>	
テキスト、教材、参考書	30時間でマスターシリーズ「Excel 2000」「プレゼンテーション + PowerPoint 2000」		

授 業 科 目 名	数学	担 当 教 官	石井満
対 象 学 生	1学年	学期及び曜日・時限	前期・木曜 限
単 位	2単位	選 択	教室名 3階階段教室
回	講 義 題 目	内 容	
		1 行列 1) 定義 2) 演算 3) 行列の諸性質とその応用 2 微積分 1) 微分とその応用 2) 積分計算とその応用 3) 確率密度	
テキスト、教材、参考書		プリント	

授 業 科 目 名	統計学	担 当 教 官	石井満
対 象 学 生	1学年	学期及び曜日・時限	後期・木曜 限
単 位	2単位	選 択	教室名 3階階段教室
回	講 義 題 目	内 容	
		<p>医療、看護分野のデータを例題に用い 1.記述統計 2.正規分布 3.推定 4.検定 について講義する。</p>	
テキスト、教材、参考書		プリント	

授 業 科 目 名	社会保障制度と生活者の健康	担 当 教 官	金谷春代
対 象 学 生	1学年	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1単位	必修	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1		社会保障とは 概念、意義、構造	
2		" 歴史	
3		" 日本の社会保障	
4		公的扶助	
5		"	
6		社会福祉 福祉サービス	
7		" 医療サービス	
8		" 福祉サービス	
9		社会福祉法各論	
10		"	
11		"	
12		"	
13		"	
14		"	
15		試験	
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	社会保障制度と生活者の健康	担 当 教 員	内藤和美
対 象 学 生	1学年	学期及び曜日・時限	前期
単 位	2単位	必 修	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1	公衆衛生	公衆衛生の概念、公衆衛生の3大関心、方法としての疫学	
2	健康の指標(1)	国勢調査、人口静態、人口問題	
3	健康の指標(2)	人口動態 出生、死亡	
4	健康の指標(3)	人口動態 死亡、死産、婚姻、離婚	
5	健康の指標(4)	生命表 平均余命	
6	感染症とその予防(1)	感染症と伝染病、感染症の成立要件、感染症の流行、感染症の種類	
7	感染症とその予防(2)	感染症の動向(とくに、新興感染症・再興感染症)、感染症予防対策	
8	食品保健と栄養	食品の安全 食中毒、食品衛生管理、国民栄養調査	
9	生活環境の安全(1)	環境問題、環境対策の基本 環境基準と排出規制、典型7公害、地球環境問題	
10	生活環境の安全(2)	生活環境 水、廃棄物	
11	地域保健	地域保健法と地域保健サービス、医療サービスの提供、保健医療従事者、ヘルスサービスの方向	
12	母子保健	母子保健統計、母子保健サービス	
13	学校保健	学校保健事業、感染症予防、学校環境衛生、学校安全、学校給食	
14	産業保健	産業保健、健康管理、作業管理、作業環境管理、職業病、労働災害	
15	試験		
テキスト、教材、参考書		テキスト 清水忠彦他編:わかりやすい公衆衛生学、廣川書店 厚生統計協会:国民衛生の動向(最新年度版)	

授 業 科 目 名	社会保障制度と生活者の健康	担 当 教 員	内藤和美	
対 象 学 生	2学年	学期及び曜日・時限	後期 1～4回は土曜集中講義	
単 位	2単位	必 修	教室名	
回	講 義 題 目	内 容		
1	世界の医療と福祉(1)			
2	世界の医療と福祉(2)			
3	世界の医療と福祉(3)			
4	世界の医療と福祉(4)			
5	法規			法規の概念、法規の種類、衛生法規
6	医事法規(1)			保健師助産師看護師法
7	医事法規(2)			保健師助産師看護師法
8	医事法規(3)			理学療法士・作業療法士法
9	医事法規(4)			理学療法士・作業療法士法 ・医師法
10	医事法規(5)			医療法
11	薬事法規			薬事法
12	保健衛生法規(1)			地域保健法、老人保健法
13	保健衛生法規(2)			母子保健法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律
14	予防衛生法規			感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
15	試験			
テキスト、教材、参考書		テキスト 医療法制研究会:健康政策六法 最新年度版、中央法規		

授 業 科 目 名	家族論('01)	担 当 教 官	原 ひろ子
対 象 学 生	1 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期
単 位	2 単 位	選 択	
回	講 義 題 目	内 容	
1	「家族とは何か」における多義性		
2	ヒトと人間の交差する場としての家族		
3	家族と法		
4	家族と社会政策		
5	企業社会と家族		
6	人口の再生産と家族		
7	家族の発達と個人のライフコース		
8	歴史のなかの家族		
9	変化する家族の機能		
10	育児と生涯発達		
11	高齢者介護と老後問題		
12	変わりゆく結婚		
13	脱「近代家族」への道		
14	家族のアイデンティティ		
15	「社会の中の家族」の現状と未来		
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	ケアの社会科学	担 当 教 官	井坂和広
対 象 学 生	1年次	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期
単 位	2単位	必 修	教 室 名
回	講 義 題 目	内 容	
1		社会生活と法・裁判	
2		"	
3		家族1(結婚・夫婦)	
4		家族2(")	
5		家族3(親子)	
6		男女関係1(セクハラ・ストーカー等)	
7		男女関係2(婚約・未婚の母等)	
8		学校(校則裁判等)	
9		地域社会・近隣関係	
10		労働問題	
11		自殺について	
12		医療について	
13		薬害訴訟	
14		悪徳商法(マルチ商法等)	
15		サラ金問題(自己破産・再生手続等)	
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	社会調査の基礎('01)	担 当 教 官	岩永雅也・大塚雄作・高橋一男
対 象 学 生	1 学年	学期及び曜日・時限	後期
単 位	2 単位	選 択	
回	講 義 題 目	内 容	
1	社会を調査する		
2	調査の種類		
3	調査票調査の設計		
4	調査票を作る		
5	サンプリングと実査		
6	集計と統計量		
7	2変数の関連		
8	検定の考え方		
9	検定の実際		
10	パソコンによるデータ解析		
11	多変量データ解析		
12	自由面接		
13	参与観察		
14	メディアの利用		
15	調査結果のまとめと表現		
テキスト、教材、参考書			

授業科目名	経済学	担当教官	坂本俊造
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期・金曜4限
単位	2単位	選択	教室名
回	講義題目	内 容	
1	この講義のねらい	前期15時間で経済学をカバーすることは不可能である。その上、経済学はと かく退屈でつまらない授業と思われてきた。そこでここでは経済学の「学」を外 して、日常の経済動向から、将来、社会人になった際に必要な経済の常識を 易しく解説する内容としたい。	
2	経済の仕組み	・何が経済を動かすのか	
3	景気変動をもたらす要因	・国内総生産額(GDP)とは ・好況と不況、経済変動はなぜ生ずるか	
4	経済の中・長期的変動	・日米経済、長期不況の理由 ・日・米・欧経済の長期的変動	
5	物価変動の背景	・なぜ物価変動が生ずるか ・インフレとデフレ、日本がデフレに陥った背景	
6	少子・高齢化問題	・少子・高齢化の進展と社会・経済への影響 ・社会保障、福祉政策への影響	
7	政府・日銀の役割	・経済変動に対する政府、日銀の政策 ・財政悪化の理由	
8	経済のグローバル化	・輸出入貿易の動向 ・対外経済摩擦発生の背景 ・世界的な地域統合の動き	
テキスト、教材、参考書		テキスト 大和総研「経済のしくみ」 日本実業出版社の予定	

授 業 科 目 名	生活学入門-日常生活の探求-	担 当 教 官	大久保孝治・嶋崎尚子
対 象 学 生	1 学年	学期及び曜日・時限	後期
単 位	2 単位	選 択	
回	講 義 題 目	内 容	
1	言葉(1)言葉と世界		
2	言葉(2)名前		
3	言葉(3)言葉と社会		
4	身体(1)自然・身体・社会		
5	身体(2)「私」と身体		
6	身体(3)身体・生命 - その再生産 -		
7	メディア(1)電話		
8	メディア(2)テレビ		
9	メディア(3)空間移動の メディア		
10	他者(1)「あなた」		
11	他者(2)「彼・彼女」		
12	他者(3)「彼ら」		
13	時間(1)時計と手帳		
14	時間(2)生活時間の構造		
15	時間(3)年齢		
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	英語 (基礎英語・医学英語)	担 当 教 官	河原崎やす子
対 象 学 生	1学年	学期及び曜日・時限	通年
単 位	2単位	必 修	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
		<p>この授業は、看護という分野において、最低限必要と思われる英語の読解力と会話力を身につけることを目標とする。独特の言い回しや単語を出来るだけ身につけること、なるべく早いスピードで平易な文章を読み書き出来ることなど、基礎的な力を確認しつつ、より専門的な力がつくように行きたい。また、読解の教材を通して、看護の分野への新たな認識が生まれることも期待する。</p>	
テキスト、教材、参考書		Silent Partners(英語で読む看護のエピソード) 助川著・南雲堂 How Are You Feeling Today?(やさしい看護英語) 助川著・成美堂	

授業科目名	英語 (オーラルイングリッシュ)	担当教官	澤田孝子
対象学生	2年	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	選択	教室名
回	講義題目	内 容	
1	I Don't Think We've Met	Greeting and introductions small talk and closings	
2		Listening exercises	
3		Checklist of unit content	
4		Grammar focus	
5	Do you Have a Minute?	Identifying yourself, stating and resolving problems	
6		Present continuous and simple past tense	
7		Gap filling and role plays	
8		Listening exercises	
9		Checklist of unit content	
10	How Was Your Weekend?	Greetings, giving opinions, summaries and details	
11		Simple past tense: Wh - and How questions	
12		Listening exercises	
13		Gap filling and role plays	
14		Model conversation	
15		Checklist of unit content	
16	ナースのための英会話	Prologue, At the registration desk	
17		At the Internal Medicine Department, At the doctor's office	
18		At the hall of the hospital-Missing her way and asking a student	
19		Prologue, At the nurses' station	
20		At the patient's room	
21		Morning rounds	
22		Passing trays, collecting trays	
23		Medication	
24		Morning rounds	
25		Passing trays, collecting trays	
26		Medication	
27	HEALTHY LIVING	Mind/Body Medicine	
28		Let Music Soothe Your Heart	
29		How to Overcome Work-Related Stress	
30		Hippocrates and the Art of Medicine	
テキスト、教材、参考書		Encounters(NANUN-DO)、ナースのための英会話(ジェムコ出版)	

授 業 科 目 名	英 語 (外書講読)	担 当 教 官	河原崎やす子
対 象 学 生	2学年	学期及び曜日・時限	通年
単 位	2単位	選 択	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
		<p>この授業では、1年の時に修得した看護分野に関する英語の知識をさらに深め強化することを目的とする。まず、読み物として健康全般に関する文の速読を目ざす。さらに医学英語の常識的な範囲での知識を身につけ、医療現場で必要と思われる英会話を修得する。繰り返し学ぶことで、2年の時点で確実な英語力を身につけたいと思う。国際化の時代に看護現場に立つ者にとって、必須の知識だと思われる。</p>	
テキスト、教材、参考書		Healthy Living(これからの健康) 瀬谷他著・南雲堂 これだけは知っておきたい医学英語の基本用語と表現 メジカルビュー社	

授 業 科 目 名	ドイツ語 ('02)	担 当 教 官	新田春夫
対 象 学 生	1 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期
単 位	2 単 位	選 択	
回	講 義 題 目	内 容	
1	音と文字(1)		
2	音と文字(2)		
3	動詞の現在人称変化(1)		
4	名詞の性と格変化		
5	不規則動詞sein, haben		
6	名詞の複数形		
7	動詞の現在人称変化(2)		
8	前置詞		
9	否定冠詞、所有冠詞		
10	人称代名詞		
11	命令・要求表現		
12	語順		
13	分離動詞		
14	形容詞:付加語的用法		
15	語法の助動詞		
テキスト、教材、参考書			

授業科目名	フランス語 ('02)	担当教官	鈴木啓二・増田一夫
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期
単位	2単位	選択	
回	講義題目	内 容	
1	Une rencontre ある出会い		
2	Un rendez vous デート		
3	Trou de mémoire 記憶ちがい		
4	Des goûts et des couleurs 好みの問題		
5	Une invitation généreuse 気前のよい招待		
6	La résidence d'été 夏の別荘		
7	Peine perdue 骨折り損		
8	Réservation 予約		
9	Notre écrivain préféré お気に入りの作家		
10	Loto ロト		
11	Quel jour sommes nous aujourd'hui? 今日の曜日は?		
12	La place Furstenberg フルスタンベール広場		
13	Ce qui n'est pas le plus facile à faire 最も簡単ではない事柄		
14	Le photographe 写真家		
15	Souvenir d'un été ある夏の思い出		
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	スペイン語 ('99)	担 当 教 官	山口羔正
対 象 学 生	1 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期
単 位	2 単 位	選 択	
回	講 義 題 目	内 容	
1	滞在地到着時の表現		
2	簡単な挨拶朝食にて		
3	住む家や品物を描写する		
4	自己について語る		
5	目的地へ行く		
6	入学手続き		
7	外国人の友達と		
8	買い物		
9	食事		
10	天候・暦		
11	時間		
12	趣味・好きなこと		
13	旅行をする		
14	日常生活の行動		
15	健康・病気		
テキスト、教材、参考書			

授業科目名	医療と医学	担当教官	栗田昌裕
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期
単位	1単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	医学のとらえかた	医学の定義。人間の生命を考える。医の倫理。QOL。病気と医学。	
2	医学史(1)	医学の起源。古代の医学。中世の医学。	
3	医学史(2)	近世の医学。20世紀の医学。日本の医学の発達。	
4	健康・病気と医学の体系	健康とは。病気の理解と分類。病気と心の働き。医学の大系。	
5	病気の原因	病変と症状。病理学の分類と症状。病気の原因。病気の内因と外因。	
6	病気による身体変化(1)	病変の分類。血行障害による分類。進行性の病変。退行性の病変。炎症。	
7	病気による身体変化(2)	腫瘍の分類。腫瘍の発育と広がり方。腫瘍の原因。白血病。奇形。生体反応。	
8	病気の診断	診断学の歴史。診断の方法。診察の技術。診断と検査。病名について。	
9	病気の治療とリハビリテーション	何が病気をなおすか。治療法の分類。現代の治療法。安静と食事と看護。リハビリテーション医学。	
10	病気の予防	予防の原則。予防医学と衛生学。定期的健康診断。人間ドックの意義。成人病の一次予防。	
11	新しい医療システム	日本の医療システムとその役割。自由診療・保健診療・慈善医療。救急医療。	
12	健康教育と衛生統計	健康教育。衛生統計。衛生政策と公衆衛生の組織。医療関係者と医療施設。	
13	医学および看護の生命へのアプローチ	現代医療の反省。キュアとケア。ケアのアート。ターミナルケア。死の判定と尊厳死。	
14	その他	以上の内容を必要に応じて補う。	
テキスト、教材、参考書		「系統看護学講座別巻11 医学概論」、日野原重明著、医学書院	

授業科目名	疾病の成り立ちと回復の促進	担当教官	栗田昌裕
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	後期
単位	1単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	病理学への導入	病理学とは、病因論。疾病の分類。	
2	先天異常	奇形と遺伝性疾患。奇形の種類。遺伝の関与と遺伝異常。遺伝性疾患の診断と治療。	
3	代謝異常(1)	細胞の障害と適応。変性と壊死とアポトーシス。細胞障害と物質沈着。	
4	代謝異常(2)	脂肪変成。タンパク質変成。糖原変成。 脂質代謝異常と疾患。タンパク質代謝異常と疾患。糖質代謝異常と疾患。その他の有機質の代謝異常と疾患。無機質の代謝異常と疾患。	
5	循環障害(1)	循環器系の概要。循環血液量の異常。	
6	循環障害(2)	閉塞性の循環障害。側副循環。リンパの循環障害。	
7	炎症と免疫(1)	炎症の原因、経過、創傷治癒、治療。炎症の各型。	
8	炎症と免疫(2)	自然免疫と適応免疫。免疫担当細胞。能動免疫と受動免疫。サイトカイン。アレルギー。	
9	炎症と免疫(3)	移植と自己免疫。膠原病。SLE。リウマチ熱など。	
10	腫瘍(1)	腫瘍の定義と分類。悪性腫瘍の転移と進行度。	
11	腫瘍(2)	腫瘍の発生病理。腫瘍の診断と治療。	
12	老化と死	ホメオスタシスと老化。腫瘍組織・臓器の老化。死について。	
13	病理検査	病理検査の意義。細胞診。生検組織診。迅速診断。病理解剖。標本作製。	
14	その他	必要に応じて、上記を補う講義を行う。	
テキスト、教材、参考書		「系統看護学講座 専門基礎4 疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学」 編集 中村恭一ら。医学書院。	

授業科目名	疾病の成り立ちと回復の促進	担当教官	武田淳史
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期
単位	1単位	選択	教室名
回	講義題目	内 容	
1	循環器疾患	心臓の機能と形態の基礎、先天性心疾患	
2	循環器疾患	心筋炎、心筋症	
3	循環器疾患	弁膜症、虚血性心疾患	
4	循環器疾患	血管疾患、高血圧症	
5	呼吸器疾患	気管・肺の構造、感染症	
6	呼吸器疾患	閉塞性、拘束性肺疾患総論	
7	呼吸器疾患	気管支拡張症、塵肺、胸膜疾患	
8	呼吸器疾患	肺腫瘍	
9	腎臓疾患	腎臓の構造と機能、尿路感染症	
10	腎疾患	腎炎、腎癌	
11	泌尿器疾患	腫瘍、炎症	
12	生殖器	奇形、卵巣、子宮疾患	
13	内分泌疾患	ホルモンの役割、下垂体疾患	
14	内分泌疾患	甲状腺、副甲状腺疾患	
15	内分泌疾患	副腎疾患	
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座：専門基礎4病理学(医学書院)	

授業科目名	疾病の成り立ちと回復の促進	担当教官	栗田昌裕
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	後期
単位	1単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	消化器系の疾患 (1)	口腔および食道疾患:口内炎、舌がん、口腔がん、食道炎、食道静脈瘤、食道がん。	
2	消化器系の疾患 (2)	胃の疾患:胃炎、胃潰瘍、ポリープ、胃癌、など。	
3	消化器系の疾患 (3)	腸および腹膜の疾患:虫垂炎、クローン病、潰瘍性大腸炎、腸結核、アメーバ赤痢、大腸ポリープ、大腸がん、など。	
4	消化器系の疾患 (4)	肝臓の疾患:肝炎、肝硬変、アルコール性肝障害、肝がん、など	
5	消化器系の疾患 (5)	胆嚢・胆管・膵臓の疾患:胆石症、先天性胆道閉塞症、胆嚢がん。	
6	血液・造血器系の疾患 (1)	骨髄の構造と機能。血液検査。赤血球系の疾患。貧血。	
7	血液・造血器系の疾患 (2)	白血球系の異常、血病など。	
8	血液・造血器系の疾患 (3)	リンパ系および脾臓の疾患:リンパ節の疾患、免疫グロブリン合成異常、脾臓の炎症、脾腫、など。	
9	脳・神経・筋肉系の疾患 (1)	神経系の構造と特徴。脳血管障害。脳・神経系の感染症:髄膜炎、脳炎(脳脊髄炎)、髄膜脳炎。	
10	脳・神経・筋肉系の疾患 (2)	脳神経系の変性疾患・脱髄疾患・腫瘍:パーキンソン病。筋萎縮性側索硬化症、アルツハイマー病、多発性硬化症、ギランバレー症候群など。	
11	脳・神経・筋肉系の疾患 (3)	筋肉系の疾患:進行性筋ジストロフィー、重症筋無力症、多発性筋炎など。	
12	耳・目・皮膚疾患	中耳炎、緑内障、乳頭浮腫などの耳・目の疾患。 湿疹、蕁麻疹、皮膚の腫瘍などの皮膚の疾患。	
13	骨・関節系の疾患	骨折、骨髄炎、骨粗鬆症、など。スポーツ障害。骨肉腫など。	
14	その他	必要に応じて、以上を補う講義を行う。	
15	その他	必要に応じて、以上を補う講義を行う。	
テキスト、教材、参考書		「系統看護学講座 専門基礎4 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学」、中村恭一、他、編集、医学書院	

授業科目名	微生物学	担当教官	澤田只夫
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	1) 序論 (微生物学のなりたち)	微生物学とは(病原微生物と看護)/微生物学の歩み(近代微生物学のいしずえ)/生物学上の位置	
2	2) 細菌学総論	形態(大きさ・形・空間配列)と菌体の化学的組成(染色性・構造・組成)	
3		物理的・化学的環境および栄養と物質代謝	
4		感染と発病(感染と感染症/感染・発病を規定する因子/常在細菌叢/感染源と感染経路)	
5		滅菌消毒(滅菌法/消毒と消毒薬/消毒薬の検定法/消毒の実際)	
6		化学療法 (定義/化学療法の歩み/抗細菌性化学療法薬・抗真菌性化学療法薬・抗ウイルス性化学療法薬・抗がん性抗生物質)	
		化学療法 (薬剤感受性試験/抗菌スペクトル/耐性菌/化学療法薬の使用にあたっての注意事項)	
7		伝染病の予防(伝染病に対する処置/伝染経路に対する処置/個人的予防対策/集団的予防対策/院内感染/感染症のサーベイランス(感染症監視))	
		細菌学的検査法(顕微鏡/培養検査法/細菌の固定法/微生物の保存)	
8		細菌学総論のまとめ	
9	3) 免疫学	免疫応答の成立(免疫とは/免疫の種類/免疫系と免疫応答/抗原/抗原の認識/免疫の促進と抑制/免疫不全症候群)	
10		液性免疫(抗体/抗原抗体反応) 細胞性免疫(細胞性免疫/移植免疫と腫瘍免疫)	
11		感染防御免疫(感染防御免疫の種類/予防接種/血清療法および免疫グロブリン療法)など	
		免疫病(過敏症/自己免疫疾患)	
12		免疫学のまとめ	
13	4) 細菌学各論	グラム陽性球菌(ブドウ球菌属/レンサ球菌属) グラム陰性球菌および球杆菌(ナイセリア属/モラクセラ属/ベイヨネラ属)	
14		グラム陰性好気性杆菌(シュドモナス属およびその類縁菌/ブルセラ菌/ボルデテラ菌/フランシセラ属/レジオネラ属)	
テキスト、教材、参考書			

回	講義題目	内容
15		グラム陰性通性嫌気性杆菌(腸内細菌科/ビブリオ科/ヘモフィルス属)
16		無芽胞偏性嫌気性菌(偏性嫌気性菌/無芽胞グラム陰性嫌気性菌/無芽胞グラム陽性嫌気性菌) グラム陽性無芽胞杆菌(乳酸菌属/リステリア属・エリジペロスリックス属/コリネバクテリウム属/マイコバクテリウム属/放線菌類)
17		グラム陽性芽胞形成杆菌(バシラス属/クロストリジウム属) カンピロバクターとヘリコバクター(カンピロバクター属/ヘリコバクター属/スピリルム)
18		リケッチア(発疹チフスリケッチア/発疹熱リケッチア/ロッキー山紅斑熱リケッチア 日本紅斑熱リケッチア/つつが虫病リケッチア/Q熱コクシエラ クラミジア(クラミジア-トラコマチス/クラミジア-シッタシ/クラミジア-ニューモニエ) マイコプラズマ
19		細菌学のまとめ
20	5) ウイルス学総論	ウイルスの特性と定義/ウイルスの構造/増殖/分類/ウイルスと宿主とのかかわり 合い
21		ウイルス感染症の実験室診断/ウイルス感染症の治療と予防/腫瘍(がん)ウイルス/ プリオンとプリオン病/エマージングウイルスとリエマージングウイルス
22	6) ウイルス学各論	DNA ウイルス(ボックスウイルス科/ヘルペスウイルス科/アデノウイルス科/パポ ーウイルス科/パルポウイルス科/ヘパドナウイルス科
23		RNA ウイルス (オルトミクソウイルス科/パラミクソウイルス科/ラブドウイルス科/ フィロウイルス科/ピコルナウイルス科/レオウイルス科/トガウイルス科)
24		RNA ウイルス (フラビウイルス科/コロナウイルス科/カリシウイルス科/アストロウ イルス科/ブニヤウイルス科/アレナウイルス科/レトロウイルス科/肝炎ウイルス/ 細菌ウイルス(バクテリオファージ)
25		ウイルス学のまとめ
26	7) 真菌学	真菌学総論(細菌との違い/形態/培養/抵抗力/病原性/真菌の化学療法薬/ 検査法/分類)
27		各種の病原真菌(接合菌類/子嚢菌類/担子菌類/不完全菌類/皮膚糸状菌 類)
28	8) 原虫学	根足虫類/鞭毛虫類/孢子虫類/繊毛虫類/その他
29		総まとめ

授業科目名	薬理学	担当教官	赤岩重雄
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	総論(1)	薬理学の概念	
2	総論(2)	薬の効力	
3	総論(3)	薬の有害作用およびその適用	
4	神経性調節(1)	末梢神経系作用薬	
5		末梢神経系作用薬	
6	神経性調節(2)	中枢神経系作用薬	
7		中枢神経系作用薬	
8	ホルモン	ホルモンの分類と働き	
9	オータコイドと炎症(1)	炎症のメカニズム	
10	オータコイドと炎症(2)	抗炎症薬の種類と薬効	
11	心臓血管系作用薬(1)	心臓血管系作用薬の種類とその作用点	
12	心臓血管系作用薬(2)	心臓血管系作用薬の適用と薬効	
13	呼吸器系作用薬	呼吸器系作用薬の種類とその適用	
14	復習		
15	前期試験		
16	消化器系作用薬(1)	消化器系作用薬の種類と作用点	
17	消化器系作用薬(2)	消化器系作用薬の薬効と副作用	
18	泌尿・生殖器系作用薬	泌尿・生殖器系作用薬の種類とその適用	
19	皮膚作用薬	皮膚作用薬の種類とその適用	
20	ビタミン	薬としてのビタミン	
21	化学療法薬(1)	抗生物質の種類とその適用	
22	化学療法薬(2)	悪性腫瘍に用いられる化学療法薬	
23	消毒薬と防腐薬	消毒薬と防腐薬の種類とその基礎知識	
24	生物学的製剤	生物学的製剤の作用原理	
25	薬物中毒	薬物中毒とその処置	
26	診断用薬物	診断用薬物とその基礎知識	
27	漢方薬	漢方医学の基礎用語と主な製剤	
28	総復習		
29	後期試験		
テキスト、教材、参考書		標準看護学講座「薬理学」 金原出版	

授 業 科 目 名	リハビリテーション概論	担 当 教 官	松澤正
対 象 学 生	2 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	後 期
単 位	1 単 位	選 択	教 室 名
回	講 義 題 目	内 容	
1		リハビリテ - ションの定義と理念	
2		リハビリテ - ションの歴史	
3		リハビリテ - ションの構成と地域リハビリテ - ション	
4		障害論	
5		医学的リハビリテ - ションの流れと対象	
6		リハビリテ - ション医療関連職種とチ - ムワ - ク	
7		障害学	
8		評価学	
9		治療学 1	
10		治療学 2	
11		脳卒中のリハビリテ - ション 1	
12		脳卒中のリハビリテ - ション 2	
13		脊髄損傷のリハビリテ - ション	
14		脳性麻痺のリハビリテ - ション	
15		整形外科疾患のリハビリテ - ション	
		期末試験	
テキスト、教材、参考書		プリント配布	

授 業 科 目 名	救命救急医療	担 当 教 官	矢嶋和江
対 象 学 生	2学年	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1単位	選 択	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1	救急医療と看護	1. 救急医療の変遷と今日の課題について概説する。 救急医療体制 21世紀の救急医療	
2		2. 救急看護の特性と求められる看護婦の役割を知る。 求められる知識・技術・態度 沈着冷静さ、臨機応変さ、患者家族のプライバシーなど 救急現場に働く者の人事管理	
3	救急患者とその家族	1. 救急患者の特徴	
4		2. 救急状況に於ける心理的・身体的(社会)状況 ストレス、危機理論、不安と混乱状況	
		3. 人間の尊厳に対する姿勢 脳死と臓器移植 人権・医療者側の守秘義務	
5	救急の病態とアセスメントの視点	1. 生命の危機状況とその判断基準 何を観察するのか、何が必要なのか バイタルサインからみた緊急度/重症度	
6		2. 救急検査の内容と優先順位 3. 救急手術への対応	
7	重篤な病態とケア	1. CPAOA	4. 循環不全
8		2. 意識障害	5. 急性肝不全
		3. 呼吸不全	6. 急性腎不全
9	特殊な病態とケア	1. 急性腹症	4. 熱中症
		2. 重症感染症	5. 中毒
10		3. 熱傷	6. その他(毒へび咬傷など)
11	災害看護とは	1. 災害と災害管理	
12		2. 災害看護と看護婦の役割	
13	トリアージについて	1. トリアージとは 2. 多死傷者の管理	
14	災害のもたらす心理的 衝撃とその対策	1. 被災者と援助者のための心のケア	
15	災害救援ボランティア について	1. 医療職のための災害救援とボランティア活動	
	* CPRの実際	応急救命処置について(1次救命・2次救命) (シミュレーターによる救急蘇生法の演習)	
テキスト、教材、参考書		「救急看護学」医学書院 看護婦・介護士のための災害救援ハンドブック ・プリント VTR	

授業科目名	看護学の基礎	担当教官	治田ヒロ子
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名
回	講義題目	内容	
1	導入	本科目の概要、学習のねらい、授業の進め方、評価の方法等について説明する。	
2		看護教育過程における基礎看護学の位置付けについて解説する。	
3	生命と看護	「生命(いのち)」を考える意義	
~	1「いのち」と看護	個体と環境とのかかわり	
6	2環境と看護	健康と環境条件 環境への看護的アプローチ	
	3健康と看護	健康の概念、健康観、健康成立の条件 セルフ・ケア、積極的・意図的セルフ・ケアとしての保健行動の育成と看護	
7	看護の概念		
~	1人間社会における		
13	看護の軌跡		
	1)看護の歴史	看護の起源 宗教と看護・戦争と看護 公的救済事業と看護 医療の中で必要とされた職業看護 ナイチンゲールの看護史上における位置	
	2)現代看護の理論領域	人間に内在するものについての理論 人間関係理論 システム理論 ケア論	
	3)看護と倫理	倫理とは、医療の進歩に伴う問題 倫理的問題に関する看護者の役割 患者の権利、インフォームド・コンセント	
	2看護とは何か	看護ケアの本質 専門職としての看護の定義 看護の実践(看護の目標・看護技術・看護過程)	
14	看護の対象と看護の機能	生物体としての人間	
~	1対象としての人間の理	生活体としての人間	
19	解	統一体である全人間としての個人 病気を持った人間	
	2人間のライフサイクルに	ライフサイクル各期の生活と健康問題	
	応じた看護の機能	ライフサイクルにおける健康管理	
	3人間の死と看護	死生観の変遷、死への対応の変化 キューブラ・ロスによる死にゆく過程 死への準備教育	
	4社会的帰属集団と保健	家族 (家族の機能・生活様式)・集団(農村社会・都市社会)と保健問題	
テキスト、教材、参考書		新版看護学全書 基礎看護学 1 メヂカルフレンド社 湯槇ます他訳:F. ナイチンゲール著 看護覚え書 現代社 金井一薫著:ナイチンゲール看護論・入門 現代社	

回	講義題目	内 容
20 ～ 22	現代保健医療の場と看護活動	保健医療の概念と看護 保健医療の変遷 総合保健医療と総合看護(プライマリー・ヘルスケア、保健・医療・福祉サービスシステム、保健・医療・福祉の連携) 医療機関における臨床看護活動 地域における看護活動 看護場面における教育活動 看護業務の変化 高齢社会と保健活動
23	看護職のこれから	看護制度・教育制度の課題 魅力ある職業とするための条件 期待される看護婦像 看護の国際化
24 ～ 27	看護管理	管理とは、看護管理の考え方 看護管理とリーダーシップ 病院における看護組織とその役割 看護管理の実際(人事管理・業務管理・病棟・外来管理) 看護婦のモラル 看護管理と経営
28 ～ 30	まとめ	看護の社会的評価に関していくつかの視点から調べ、討議・発表する。 (グループワーク) *看護研究(他の科目に委ねる)

授 業 科 目 名	看護理論の基礎	担 当 教 官	鹿村真理子
対 象 学 生	2 学年	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1 単位	必修	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1	看護理論とは	看護理論とは	
2	ナイチンゲ - ル	フロ - レンス・ナイチンゲ - ルの看護理論	
3	ヘンダ - ソン	バ - ジニア・ヘンダ - ソンの看護理論	
4	ペプロウ	ヒルデガ - ド・E・ペプロウの看護理論	
5	オレム	ドロセア・E・オレムの看護論	
6	ロイ	シスタ - ・カリスト・ロイの看護理論	
7	グル - プ討議	看護理論を一つ選び、その枠組みと特徴についてグル - プ討議する。	
8	グル - プ討議	同上	
9	グル - プ討議	同上	
10	グル - プ討議	同上	
11	発表	グループ毎に発表する。	
12	発表	同上	
13	発表	同上	
14	まとめ	看護理論の補足	
15	まとめ	看護理論の補足	
テキスト、教材、参考書		黒田裕子 やさしく学ぶ看護理論 日総研	

授 業 科 目 名	基礎看護技術	担 当 教 官	金古さつき
対 象 学 生	1 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期
単 位	2 単 位	必 修	教 室 名
回	講 義 題 目	内 容	
1	看護技術とは	看護技術とは	
2	環境	人間をとりまく環境を理解し、環境調整時における看護婦の役割を学ぶ。	
3	病床の整備	病床の意義・ベッドメ - キングの種類と方法などについて学ぶ。	
4	衣生活	衣生活の意義・リネン管理における看護婦の役割について学ぶ。	
5	コミュニケ - ション	コミュニケ - ションの技法と看護への適応について学ぶ。	
6	コミュニケ - ション	ロ - ル・プレイングについて学習し、人間関係の疑似体験をする。	
7	清潔	皮膚粘膜の解剖・生理の知識を基に清潔の意義・種類・方法などについて学ぶ。対象の生活習慣を把握し、清潔の適切な援助方法を考える。	
8	清潔	全身清拭・部分浴・洗髪について演習し、評価する。	
9	清潔	口腔ケア・陰部ケアなどについて演習し、評価する。	
10	排泄	排泄の生理と観察法について学ぶ。個人の排泄パタ - ンを知り、それが変調をきたした際の援助法について考える。	
11	排泄	排泄障害をきたした際の援助技術について学ぶ。	
12	排泄	排泄の援助技術(便尿器の与え方・浣腸・導尿等)について演習し、相互評価する。	
13	包帯	対象者に適した材料での確な包帯を装着する技法を習得する。	
14	まとめ	基礎看護技術 で学んだことの整理	
15	実技試験	実技試験	
テキスト、教材、参考書		内藤寿喜子他:看護学全書 基礎看護学 基礎看護技術,メヂカルフレンド社. 池田明子訳:コミュニケ - ション,日本看護協会出版会. 北米看護診断協会:NANDA 看護診断 定義と分類,医学書院. 新井治子他:看護データブック,医学書院.	

授業科目名	基礎看護技術	担当教官	治田ヒロ子
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	後期
単位	2単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	バイタルサインズ	診療時の看護婦の役割を学ぶ。観察の技術として重要なバイタルサインズ(体温・脈拍・心拍・血圧・呼吸等)の意義について学ぶ。	
2	バイタルサインズ	バイタルサインズの測定法について学ぶ。	
3	バイタルサインズ	バイタルサインズについて演習し、評価する。あわせて記録や評価のしかたについても学ぶ。	
4	電法	電法の基礎的知識と方法について学び、電法による変化についても演習する。	
5	吸引と吸入	吸引と吸入の方法と効果的な援助方法について学ぶ。	
6	姿勢と体位	安楽な体位と動作の経済性を高める技術について学ぶ。	
7	姿勢と体位	姿勢と体位・移動技術について演習する。	
8	活動と休息	睡眠の生理を学び個人の睡眠習慣を把握する。睡眠と安息の援助方法を考える。レクリエーションおよび身体運動についても学ぶ。	
9	身体各部の計測	身長・体重・胸囲・腹囲などの身体機能の計測の方法について学ぶ。	
10	栄養と食事	栄養と食事の生理的意味を理解するとともに、対象の食生活習慣を把握する。食事の適切な援助方法について学ぶ。	
11	栄養と食事	さまざまな栄養法の実際について学ぶ。	
12	与薬	薬物療法についての的確な知識と技術を習得し、看護婦の役割について学ぶ。	
13	与薬	輸液の準備と介助法、皮内注射・皮下注射・筋肉注射について演習する。	
14	検査安全	検査時における看護婦の役割について学ぶ。	
15	実技試験	安全工学におけるフェイル・セーフの考え方を紹介し、医療における安全性について考える。感染予防では、手の衛生の3つの側面について学習する。 実技試験	
テキスト、教材、参考書		内藤寿喜子他:看護学全書 基礎看護学 基礎看護技術,メヂカルフレンド社. 北米看護診断協会:NANDA 看護診断 定義と分類,医学書院. 新井治子他:看護データブック,医学書院.	

授 業 科 目 名	基礎看護技術	担 当 教 官	鹿村眞理子
対 象 学 生	2 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期
単 位	2 単 位	必 修	教 室 名
回	講 義 題 目	内 容	
1	共通技術とは	基礎看護技術における共通技術について学ぶ。	
2	カウンセリング	看護におけるカウンセリングの位置づけとその技法について学ぶ。 カウンセラーに求められる基本的態度およびリラクゼーションの方法について学ぶ。	
3	医療における死	民俗学からみた死、安楽死裁判を通しての死などから死について考える。 悲嘆のプロセスおよび死後の処置の方法について学ぶ。	
4	健康教育	健康教育の歴史、教育診断的アプローチについて学ぶ。 健康教育における看護婦の役割について学び、糖尿病教育の例を紹介する。	
5	観察	観察の技術、方法、用語と観察の優先順位、長所と欠点について学ぶ。	
6	観察	観察の方法を事例を通して学ぶ。バイタルサインの測定・評価について演習する。	
7	記録	記録の重要性、記録の種類、記録上の注意について学ぶ。 記録の実際、管理、報告、審査等について学ぶ。	
8	記録	プロセスレコ - ドの方法を事例を通して学ぶ。	
9	事例展開	事例を通して看護の実際を学習する。	
10	事例展開	同上	
11	事例展開	同上	
12	発表	グループ毎に発表する。	
13	発表	同上	
14	まとめ	事例から学んだことの整理	
15	まとめ	共通技術で学んだことの整理	
テキスト、教材、参考書		内藤寿喜子他：看護学全書 基礎看護学 基礎看護技術，メヂカルフレンド社。 北米看護診断協会：NANDA 看護診断 定義と分類，医学書院。 古橋洋子：情報収集ガイドブック，メヂカルフレンド社。 古橋洋子：PONR・看護診断，日総研。 新井治子他：看護データブック，医学書院。	

授 業 科 目 名	看護過程論	担 当 教 官	鹿村真理子
対 象 学 生	2 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期
単 位	1 単 位	必 修	教 室 名
回	講 義 題 目	内 容	
1	看護過程	看護過程を学習する意義、構成要素、用語等について学ぶ。	
2	看護過程	問題解決法、クリティカルシンキング、意思決定など看護過程を展開するために基本となる考え方について学ぶ。	
3	看護過程	看護過程の概念の変遷、看護診断について学ぶ。	
4	データ	主観的データ・客観的データについて学ぶ。	
5	アセスメント	情報の分析、一次アセスメント・フォーカスアセスメントについて学ぶ。	
6	看護診断	看護診断過程について学ぶ。	
7	患者目標、計画立案、実施・評価	患者目標の設定の仕方および計画立案、実施、評価について学ぶ。	
テキスト、教材、参考書		北米看護診断協会：NANDA 看護診断 定義と分類，医学書院． メヂカルフレンド社編：病態マップ，メヂカルフレンド社． 新井治子他：看護データブック，医学書院． 古橋洋子：情報収集ガイドブック，メヂカルフレンド社． 古橋洋子：PONR・看護診断，日総研．	

授 業 科 目 名	在宅看護論の基礎	担 当 教 官	梅林奎子
対 象 学 生	1学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前期
単 位	1単位	必 修	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
		<p>* 看護のなかでの在宅看護の位置づけを理解するとともに、在宅看護が求められる社会的背景や、役割を学ぶ。</p>	
1	在宅看護の概念	在宅看護の目的と役割、位置づけ	
2	地域看護と在宅看護	看護の中の在宅看護の位置づけについて	
3	在宅ケアの在宅看護	在宅ケアの中での在宅看護の位置づけについて	
4	在宅看護の歴史	欧米における歴史について	
5		日本における歴史について	
6	在宅看護の現状	高齢化社会と疾病構造について	
7		家族構成の変化、高齢者の医療保健福祉施策	
8		介護老人と家族介護	
9	在宅看護の場	行政・医療機関が行う訪問看護	
10		訪問看護ステーション、民間の訪問看護	
11	在宅における看護の持続性	対象のライフサイクルに応じた看護の在宅における持続性	
12	施設看護と在宅看護	それぞれの特徴を比較する	
13	在宅看護の基本	在宅看護の機能、対象、展開	
14	在宅療養者の権利保障	障害者のノーマライゼーションについて	
	まとめ		
15	試験		
		<p>* 途中、在宅看護に関するトピックスを、グループワークで調べ、発表の場を設定したいと考えています。</p>	
テキスト、教材、参考書		『在宅看護論』杉本正子、真船拓子著(廣川書店) 教科書に沿った「ワークシート」の使用 他	

授 業 科 目 名	在宅看護活動論	担 当 教 官	佐光恵子
対 象 学 生	2学年	学期及び曜日・時限	通年
単 位	2単位	必 修	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1	在宅看護活動とは	<p>* 前期は主に、在宅看護を展開するための看護活動の基本的理解を図るとともに、家族支援と関係機関との連携を学ぶ。</p> <p>1年次の概要復習(在宅看護の目的・役割等)</p> <p>家族の機能と変遷</p> <p>現在日本の家族</p> <p>家族をとらえる視点</p> <p>介護の実態と家族支援</p> <p>在宅療養者への虐待の実態</p> <p>在宅看護と経済的側面</p> <p>在宅療養の診療報酬体系、経済的負担</p> <p>在宅看護と法規</p> <p>保助看法、医療法、老人保健法、地域保健法</p> <p>在宅ケアと法規</p> <p>保健・医療・福祉関係機関の法的位置づけ</p> <p>在宅ケアと職種</p> <p>保健・医療・福祉関係職種と連携</p> <p>在宅ケアシステム</p> <p>在宅ケアの社会資源とシステム</p> <p>在宅看護の場の構造</p> <p>在宅療養者の生活の構造、要介護量</p> <p>家族の介護力</p>	
2	在宅療養者と家族		
3			
4			
5			
6			
7	在宅看護と経済的側面		
8	在宅看護と法規		
9	在宅ケアと法規		
10	在宅ケアと職種		
11	在宅ケアシステム		
12	在宅看護の場の構造		
13			
14	前半のまとめ		
15	中間試験		
16	訪問看護過程の展開	<p>* 在宅看護に関する課題を取りあげグループワークで調査し、発表の場も設けたいと考えています。</p> <p>* 後期は主に、在宅における看護過程の展開を中心にそのプロセスを学ぶ。</p> <p>在宅看護における看護過程、看護計画の位置づけ</p> <p>アセスメント、基本的情報、内容の分析評価</p> <p>事例を用いて演習</p>	
17		"	
18		"	
19		"	
20		看護計画の立案	
21		"	
22	介護保険法と在宅看護	介護保険法の導入の背景	
23		介護保険法下における現状と在宅看護の役割	
	在宅ケアチーム	在宅ケアチームの支援の実際	
24		"	
25	ケアマネージメント	ケアマネージャーの法的位置づけ、機能、役について	
26		"	
27	まとめ		
28	試験		
29			
30		<p>* 看護過程の展開は、実際に3年の臨地実習で使用する看護記録様式を实际用いてそのプロセスを学びます。</p>	
テキスト、教材、参考書		『在宅看護論』(廣川書店)『看護六法』『福祉六法』 ワークシート及び臨地実習用記録様式一式	

授 業 科 目 名	在宅看護活動論	担 当 教 官	菊地裕子
対 象 学 生	2学年	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1単位	必修	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
		* 在宅看護に必要な基本的な看護技術を習得するとともに、現場の実態に臨機応変に対応できる実践力を身につける。	
1	在宅看護活動とは	在宅看護活動の概念(目的・役割等)	
2	訪問看護の準備	必要物品、服装等について、	
3	バイタルサインチェック	病状観察、情報収集について	
4	在宅看護の面接と相談	在宅における面接・相談場面の展開	
5	住・衣生活の援助	生活環境や生活スタイルに応じた援助方法	
6	清潔の援助	清潔ケアについて	
7	食生活の援助	食事介助や食生活環境の整備について	
8	排泄の援助	排泄ケア、管理について	
9	服薬管理受診の援助	服薬管理について	
10	リハビリテーションの援助	リハビリテーションの特徴と援助について	
11	特殊な在宅看護技術	在宅酸素療法、排泄障害、経管栄養、CAPD法等	
12	高齢者の看護	看護の特徴と留意点及び家族支援等について	
13	難病者の看護	"	
14	まとめ		
15	試験		
		*ビデオ学習や演習を取り入れて実践的に学んでいきたいと考えています。	
テキスト、教材、参考書		『在宅看護論』(廣川書店) 『基礎看護技術』(医学書院)	

授 業 科 目 名	在宅看護論特講	担 当 教 官	菊地裕子
対 象 学 生	2学年	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1単位	選 択	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
		<p>* 在宅看護、ケア、介護に関する今日的话题を取りあげ、一緒に考え学んでいきたいと思います。特に学生自身の関心のある事柄について積極的に取りあげたいと考えています。 例えば、「ホスピス」「高齢者虐待」等</p>	
1	「在宅終末ケア、緩和ケ	緩和ケア・ホスピスを中心に	
2	ア、ホスピス」を中心に	"	
3	～ 回	"	
4	「高齢者虐待を中心に」	高齢者虐待を中心に	
5	～ 回	"	
6		"	
7	まとめ・レポート		
		<p>* 課題についてのレポートを作成します。</p>	
テキスト、教材、参考書		「地域看護学論」飯田澄美子著(メヂカルフレンド社)他	

授 業 科 目 名	成人看護学の基礎	担 当 教 官	矢嶋和江
対 象 学 生	1学年	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1単位	必 修	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1	成人看護の意義	成人看護の目的・位置づけを知り、その意義を学ぶ。	
2	成人期とは	ライフサイクルからみた成人期、成長・発達概念と成人期について学ぶ。	
3	成人期の発達理論	成人期にある人を理解するための発達理論を学習する。	
4	成人各期の特徴	青年期・壮年期・向老期の身体的、心理的、社会的特徴について幾つかの視点から考える。	
7		GW:小グループに別れて調べ、実際の例を収集する。	
8	成人保健の動向	人口の動向、疾病状況、死亡動向などの健康指標から成人の特徴および生活の中にもみる成人の健康問題を学習する。	
9	健康を保つメカニズム:	健康に対する信念、価値観、心理的・社会的・文化的要因について学ぶ。特に健康に対する信念、価値観を反映する保健医療行動の理論について学習する。	
10	健康を保つメカニズム:	成人期の発達の、状況的危機と対処機制について学ぶ。	
11	健康障害をもつ成人の理解	成人期にある人が健康を障害されることによって受ける問題とその反応への影響要因について学び、健康を障害された成人期のある人を理解する指針とする。	
12	成人期の健康障害と回復過程	成人期にある人の健康増進、疾病予防、健康障害からの回復過程について学習する。	
13	成人期の健康障害と回復過程と看護の役割機能	経過別の看護の役割機能について理解し、看護者と成人患者の援助関係についてその基本概念、要素を学ぶ。	
14	成人看護における教育的機能	成人看護学における教育的機能を理解し、その援助に必要な知識を学ぶ。	
15	まとめ		
テキスト、教材、参考書		メヂカルフレンド社:成人看護学 成人看護概論・成人保健 その他:プリント * 適宜参考書提示	

授業科目名	急性期の成人看護学	担当教官	矢嶋和江
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	通年
単位	3単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	【前期】 外科看護の基本	外科看護の対象と目的 手術を受ける対象の理解	
2	手術前の患者管理	手術を受ける対象の心理的特徴を理解し、精神的ケアの技術について学ぶ 入院から手術に至るまでの看護過程を学び、術前管理の原理原則を理解する。	
3		* GW: インフォームドコンセンスについて	
4		麻酔の種類とその特徴	
5	麻酔と看護	麻酔時の看護と注意すべき合併症について理解する。 (特に、小児、高齢者に於ける麻酔時の留意点)	
6		手術室看護	
7	手術後の合併症と回復への援助	手術室看護の目的と看護の役割 手術患者の環境としての手術室の構造、安全を重視した設備、感染防止対策などについて理解し、手術室看護婦の役割について学ぶ。 手術室における看護を中心に患者の不安への援助の必要性を理解し、安全に手術が終了するまでの手術看護の展開技術を学ぶ。 回復室看護の目的と看護の役割 手術直後の患者をアセスメントし、何をどう観察するのかを理解する。	
8		手術侵襲が生体に及ぼす影響、生体の機能、心肺機能及び他の臓器への影響について理解する。 手術後看護の特徴 術後合併症とその看護 高齢者の特徴と術前術後の管理	
10	消化器疾患の理解 (外部講師 = 10回)	消化器の機能及び消化器疾患について理解する。 治療・検査について理解する。	
20	消化器疾患患者の看護	消化器疾患の外科的治療を受ける患者の術前術後、および回復期の看護援助について学ぶ。	
21		胃切除患者の食事療法への援助	
25		腸切除患者の看護	
25	ストーマリハビリテーション看護	排泄機能を装具により行わなければならない患者の援助について学ぶ 人工肛門造設術後のリハビリテーション	
25	呼吸器疾患患者の看護	呼吸器疾患の外科的治療を受ける患者の看護について学ぶ。 肺切除術後看護及び合併症の防止について	
28			
テキスト 参考書	メヂカルフレンド「臨床外科看護学:1・2」 メヂカルフレンド社の各専門科目 廣川書店「急性期にある患者の看護」 クリティカルケア、 周手術期 南江堂「エキスパートナーシング整形外科」		
その他	プリント・ビデオ使用		

回	講義題目	内容
29	人工呼吸器装着患者の看護	人工呼吸器を必要とする患者の呼吸管理の目的、人工呼吸器装着中の患者の看護について理解する。
30	乳癌患者の看護 * 事例検討 内分泌疾患患者の看護	乳癌の手術を含む治療法について最新情報を取り入れて概観する。 乳房切除に対するボディイメージの喪失とその受容過程への援助 甲状腺の術前術後のアセスメントと看護援助について学ぶ。
	【後期】	
1	循環器疾患の理解 治療法の理解 (外部講師 = 4回)	・弁膜症、虚血性心疾患、不整脈疾患などの病態について学ぶ。 ・治療・検査について理解する。
4		
5	循環器疾患患者の看護	急性心筋梗塞患者の生命に対する不安や恐怖に対する看護介入の方法について学び、またリハビリ期における精神的・社会的な支援の必要性について理解する。 心臓手術を受ける患者の術前術後に於ける看護について学ぶ。
7		
8	脳神経外科疾患患者の看護	脳外科対象疾患の外科的治療を受ける患者の看護について学ぶ。
9	疾患の理解 治療法の理解	・脳出血、脳動脈瘤破裂、脳腫瘍 ・開頭術を受ける患者の看護
10	運動器疾患患者の看護	整形外科看護の特殊性や患者の心理的社会的、身体的バリアー環境に於ける基本的看護について理解する。また整形外科の治療法や検査法などについて概説する。
11	疾患の理解 治療法の理解	・骨折、椎間板ヘルニア、変形性関節症、骨腫瘍、神経障害など ・固定法、牽引法、装具療法、関節造影、脊髄造影
12	人工関節置換術を受ける患者の看護	外科的治療を受ける患者の看護と発生しやすい合併症について理解する。 特に人工関節置換術及び術後のリハビリテーション
13		
14	脊髄損傷患者の看護	高位レベルでの損傷患者、特に若い年齢層の障害に対する受容過程への看護援助、家族を含めた社会の受け入れ体勢などを理解する。四肢麻痺患者のADL訓練の基本と廃用性症候の予防などについて学ぶ
15	四肢切断術を受ける患者の看護	骨腫瘍にて切断術をうけた患者の心理的、身体的リハビリテーション過程をアセスメントし、具体的看護技術を学ぶ。

授業科目名	慢性期の成人看護学	担当教官	秋山美加
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	通年
単位	3単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	慢性期にある人の特徴	慢性期とは慢性疾患および慢性期の健康障害の特徴を学び、慢性期にある人の心身、生活、家族への影響を理解する。	
2	慢性期にある人の看護の特徴	セルフケアの概念およびセルフケアに影響する要因を学び、セルフケア能力のアセスメント、病気受容過程への援助、症状コントロール、健康教育などの看護の特徴を学ぶ。	
	各機能障害をもつ患者の看護	成人期の特徴的な慢性疾患を取り上げ、看護を行うにあたって必要な既習の知識を使いながら、看護の方法論を学ぶ。	
3	1) 肝機能を障害された患者の看護	肝機能を障害されたことによる心身の変化および生活への影響を把握する方法を学ぶ。さらに看護目標、看護援助の実際についても学ぶ。 *事例学習	
6			
7	2) 腎臓機能を障害された患者の看護	腎臓機能を障害されたことによる心身の変化および生活への影響を把握する方法を学ぶ。さらに看護目標、看護援助の実際についても学ぶ。 ・透析療法を受けながら生活する人の看護を学習する。 *事例学習	
10			
11	3) 造血機能を障害された患者の看護	造血機能を障害されたことによる心身の変化および生活への影響を把握する方法を学ぶ。さらに看護目標、看護援助の実際についても学ぶ。 *事例学習	
14			
15	4) 呼吸機能を障害された患者の看護	呼吸機能を障害されたことによる心身の変化および生活への影響を把握する方法を学ぶ。さらに看護目標、看護援助の実際についても学ぶ。 *事例学習	
18			
19	5) 循環機能を障害された患者の看護	循環機能を障害されたことによる心身の変化および生活への影響を把握する方法を学ぶ。さらに看護目標、看護援助の実際についても学ぶ。 *事例学習	
22			
23	6) 糖代謝機能を障害された患者の看護	糖尿病によって心身の変化および生活への影響を把握する方法を学ぶ。また看護目標、看護援助の実際についても学ぶ。 *事例学習	
25			
26	7) 免疫機能を障害された患者の看護	自己免疫機能の障害、特に膠原病、慢性関節リウマチによって心身の変化および生活への影響を把握する方法を学ぶ。また看護目標、看護援助の実際についても学ぶ。 *事例学習	
29			
	テキスト、教材、参考書	<p>テキスト：メヂカルフレンド社；新版看護学全書「成人看護学」 2.3.4.5.6.7巻 医学書院；系統的看護学講座別巻10ターミナルケア</p> <p>参考書：廣川書店；成人看護学C.慢性疾患患者の看護 廣川書店；成人看護学E.がん患者の看護 その他；適宜提示紹介する</p> <p>その他：プリントの活用</p>	

回	講義題目	内 容
30	【がん患者の看護】 1) がんの特殊性とがん患者の理解	成人期のがん疾患の動向と予防・発見システム、がん疾患がおよぼす身体的、心理的、社会的影響と看護の特徴を学ぶ。
31		
32	2) がん治療をうける患者がもつ問題と看護	化学療法、放射線療法などのがん治療およびリハビリテーションをうける患者の看護を学ぶ。
34		
35	3) がんと共に生きる	「真実を知る」と言う『告知』の問題、がんとの共生のプロセス、その援助、家族が抱える問題、患者家族を支えるためのソーシャルサポートなどについて学ぶ。
37		
38	4) 終末期にある患者のもつ問題と看護	身体的苦痛とその援助、精神的・社会的苦痛と援助などについて学ぶ。
39		
40	5) 終末期における家族への援助	終末期にある患者の家族のニーズ、死別の受容プロセスなどを学び、家族へ支援システムを理解する。
41		
42	6) 事例学習	いくつかの事例をもとに終末期の患者とその家族理解を深め終末期看護について考える。
43		*グループワーク
44	成人期の終末期まとめ	がん患者の看護を通して、成人期の終末と患者を取り巻く家族、社会環境への影響など様々な視点からの学んだ。そこで自分の人生の終わりについて、生や死について自分の反応を表出してみる。
45		

授業科目名	成人看護学特講	担当教官	秋山美加
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	後期
単位	1単位	選択	教室名
回	講義題目	内 容	
1	オリエンテーション	1. 講義・演習の進め方 2. グループ編成 3. 事例の紹介	
2 5	事例検討	1. 乳がんの手術を受ける対象の心理を考察し、様々な心理的葛藤への看護介入に向けた看護過程を学習する。 2. 大腿骨頸部骨折の術後、不穏状態となった患者の看護過程の事例について学習する。 3. 糖尿病患者の知識不足により悪化している患者への理解に向けた看護援助の過程を学習する。 4. 胃がん患者の事例、術前術後の看護過程を学習する。 上記事例は変更することもあり得る。 各事例は、ゴードンのアセスメントツールを用いて、看護上の問題を抽出してケアプランを立てる。 事例によっては役割モデルによるロールプレイをおこない、患者や家族の心理の理解に努める。	
6 7	まとめと評価	グループワークを主体に学習を進める。 全体発表(各グループごと)	
テキスト、教材、参考書			

授業科目名	老年看護学の基礎	担当教官	平井靖子
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	前期 導入とアンケート	老年看護学学習のねらい、授業のすすめ方 日本国憲法 - 老人福祉法 - 老人保健法	
2	高齢者とイメージ	高齢者に抱くイメージを話し合う	VTR鑑賞
3	老化の概念	全体像の理解	
4		外環・身体的変化から 精神的・社会的側面から	VTR鑑賞
5	高齢者の特徴	発達と成熟 高齢期における発達・成熟の意味と発達課題 人格と尊厳 高齢期の性と生命の連続	
7		多様性 人生経験と価値観 身体的状態 生活習慣・生活様式	VTR鑑賞
8	高齢期生理的機能変化	細胞数 体内水分量 感覚 筋力・筋肉の弾力性 神経伝達速度 免疫能 ホメオスターシス機能	
9	加齢に伴う変化の特徴	回復力・予備力・防禦力・適応力低下と廃用症候群の発現	
10	グループワーク	VTR鑑賞によりグループディスカッションのあり方を学ぶ	
11	老人福祉センター見学	2グループに分かれて見学実習 (ライフヒストリーインタビューを含む)	
12			
13	夏休み課題への取り組み	グループ発表の準備ライフヒストリーで学んだこと インフォームド・チョイスについて家族の考えを聴き取る	
14	後期 グループ発表	前期ライフヒストリーインタビューのまとめを発表し、質問と意見交換	
15			
16	高齢期看護の理念	高齢期の特性・独自性を理解し看護職のかかわりについて学ぶ 生活指向への援助と経済的裏づけ QOL CureとCareの連携と統合 ノーマライゼーション政策と人的支援	
テキスト、教材、参考書		鎌田ケイ子他「老年看護学」メジカルフレンド社	

回	講義題目	内 容
17	高齢期看護の目標	高齢者の健康のとらえ方、生きがい、満足度について学び病院・在宅・介護施設での看護の多様性を理解し支援のあり方を学ぶ
18 19	高齢期看護の原則	目標を達成するために守る看護の原則 個別性の尊重 自尊心の尊重 予防的対処の優先 残存機能の活用による日常生活の自立支援・VTR鑑賞 看護用具活用による生活環境の調整・用具例の示範 家族の支援 関連職種との連携(チームケア) 看護の継続
20	高齢期看護機能と役割	高齢者の健康レベルによって変化する看護機能の役割について理解を深める 健康レベルと場に応じた看護機能と役割 病院・保健施設・訪問看護ステーション・老人福祉施設
21	高齢期看護における倫理的課題	高齢者の自己決定権、差別、虐待について理解を深める
22 23	高齢社会における社会変化と対応	人口学や経済問題・社会的環境から高齢者を取り囲む状況を理解する 統計からみた有訴率、受療率、医療費の推移 老人保健制度と老人福祉制度 老人保健事業の内容と看護職のかかわり
24 25	ソーシャルサポートシステムと看護機能	介護保険制度(在宅サービス・施設サービス)と看護の役割を理解する
26	科目修了試験	高齢者ケアプラン策定指針について理解する

授 業 科 目 名	老年の健康障害と看護	担 当 教 官	平井靖子
対 象 学 生	2学年	学期及び曜日・時限	通年
単 位	2単位	必 修	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1	高齢期の疾患	症状・治療・起き易い合併症について理解を深める	
2		呼吸器系	
3		循環器系	
4			
5		脳・神経系(痴呆症を含む)	
6			
7		消化器系	
8			
9		腎・泌尿器系	
10			
11		代謝・内分泌系	
12			
13		感覚器(眼科・耳鼻科)系	
14			
15		その他(生殖器を含む)	
16			
17		高齢期特有の合併症	
18			
19	高齢期の健康障害	障害の現れ方の特徴について理解を深める	
20	検査・医療援助と看護	基礎看護学習をふまえて高齢者への援助を学ぶ	
21		通院・入院・退院の場における看護援助	
22		検査時の看護援助	
23		薬物療法時の看護援助	
24		手術前後時の看護援助	
25		インホームドチョイスに関する看護援助	
26	科目終了試験	中間試験 予備日	
テキスト、教材、参考書		鎌田ケイ子他「老年看護学」 メヂカルフレンド社	

授業科目名	老年の健康障害と看護	担当教官	栗田昌裕
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期
単位	1単位	必修・選択	教室名
回	講義題目	内容	
1	痴呆症と脳神経疾患	痴呆症の症状、原因、診断、治療、看護。 脳血管障害、パーキンソン病、小脳変性症、筋萎縮性側面硬化症、など。	
2	精神障害と循環器系の疾患	うつ状態(うつ病)。意識障害。老年者精神障害の看護。虚血性心疾患。心不全。不整脈。高血圧。動脈硬化症。老年者循環器疾患の看護。	
3	消化器系の疾患	胃・十二指腸潰瘍。胃癌。大腸癌。食道癌。胆石症。膵炎。ウイルス肝炎。肝硬変。肝癌。老年者消化器疾患の看護。	
4	呼吸器系の疾患	老人性肺炎。老年者肺結核。閉塞性肺疾患。拘束性肺疾患。肺癌。 老年者呼吸器疾患の看護。	
5	代謝性疾患と内分泌疾患	糖尿病。痛風。肥満症とやせ症。老年者代謝性疾患の看護。 甲状腺疾患。副甲状腺疾患。老年者内分泌疾患の看護。	
6	膠原病と血液疾患	慢性関節リウマチ、シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、多発性筋炎、など。貧血、白血病、悪性リンパ腫、など。 老年者の膠原病、血液疾患の看護。	
7	腎・泌尿器の疾患	腎不全。糸球体腎炎。薬剤性腎障害。腎尿路感染症など。老年者の腎・泌尿器疾患の看護。	
8	運動器と皮膚の疾患	大腿骨頸部骨折。変形性膝関節症。椎間板ヘルニアなど。 接触皮膚炎、アトピー皮膚炎、老人性乾皮症、老人性紫斑、など。 老年者運動器疾患の看護。	
9	視覚器と耳鼻咽喉の疾患	白内障、緑内障、糖尿病性網膜症、など。難聴。メニエール病、睡眠時無呼吸症候群、など。老年者耳鼻咽喉疾患の看護。	
10	老年期の薬の副作用と手術適応	非ステロイド性消炎鎮痛薬、向精神薬、抗筋薬など。腹部手術、肺手術、循環器疾患など。薬の副作用に対する看護上の注意。老年者手術の看護。	
11	発熱と感染症	熱型、MRSA、病原大腸菌腸炎、偽膜性大腸炎、エイズ、など。 老年者の発熱患者、感染症患者の看護。	
12	呼吸困難と意識障害	呼吸困難度の目安、呼吸困難の発生機序など。意識障害者の救急処置。意識障害の原因。老年者の意識障害の看護。 頭痛、三叉神経痛、脊椎の障害、肩関節周囲炎、変形性関節症、など。	
13	痛み	老年者の痛みの看護	
14	その他	必要に応じて、以上を補う講義をする。	
15	その他	必要に応じて、以上を補う講義をする。	
テキスト、教材、参考書		「系統看護学講座 専門20 老年看護 病態・疾患論」、佐々木英忠著、医学書院。	

授 業 科 目 名	老年看護学特講	担 当 教 官	平井靖子
対 象 学 生	2学年	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1単位	選 択	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1	事例提供 (重症でねたきりの高齢者のケース)	1. 事例の解説、データ解釈のために学習しておくことを説明する。 2. 事例のデータのアセスメントを、次回まで自己学習により終了して授業に参加する。	
2	データの解釈	1. データの解釈を質問する。	
3		2. データのアセスメントを質問する。	
4		3. アセスメントの方法を説明する。	
5			
6	まとめ	事例全体のまとめを行う。	
7		不足しているデータは何か質問しながら明らかにする。	
		課題: 事例の看護を必要とする問題をすべて列記する。 その問題には優先順位をつける。	
テキスト、教材、参考書		資料は授業中に配布する。	

授 業 科 目 名	小児看護学の基礎	担 当 教 官	中垣紀子
対 象 学 生	1学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	後 期
単 位	1単位	必 修	教 室 名
回	講 義 題 目	内 容	
1 2	小児看護の理念	小児看護の変遷 子どもの健康及び小児看護を支える基本理念 子どもの権利と倫理 小児看護の目的と課題	
3 4 5 6 7 8	小児看護の対象	小児期の親子関係と家族の機能 子どもの特徴、小児期の成長発達、発達課題 小児期の人格の構造と社会化のプロセス 子どもの生活と基本的な生活習慣	
9 10 11 12	子どもを取り巻く環境と健康問題	環境の変化と現代の子どもの健康状況 子どもの健康に関わる現代の家族状況 子どもの健康問題と社会状況	
13 14	小児看護を支える理論的枠組み	構造・機能からみた枠組み 二ード論からみた枠組み 発達論からみた枠組み 相互作用論からみた枠組み	
15	試験		
テキスト、教材、参考書		岡田洋子他著「小児看護学」医歯薬出版	

授業科目名	小児の健康障害と看護	担当教官	中垣紀子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	体温調節系の健康障害と看護	体温調節系の構造・機能	
2		体温調節系の主要症状のアセスメントと看護問題の明確化	
3		体温調節系に関するケア技術の実際	
4	消化器系の健康障害と看護	消化器系の構造・機能	
5		消化器系の主要症状のアセスメントと看護問題の明確化	
6		消化器系に関するケア技術の実際	
7	呼吸器系の健康障害と看護	呼吸器系の構造・機能	
8		呼吸器系の主要症状のアセスメントと看護問題の明確化	
9		呼吸器系に関するケア技術の実際	
10	循環器系の健康障害と看護	循環器系の構造・機能	
11		循環器系の主要症状のアセスメントと看護問題の明確化	
12		循環器系に関するケア技術の実際	
13	腎・泌尿器系の健康障害と看護	腎・泌尿器系の構造・機能	
14		腎・泌尿器系の主要症状のアセスメントと看護問題の明確化	
15	前期試験		
16	腎・泌尿器系の健康障害と看護	腎・泌尿器系に関するケア技術の実際	
17	内分泌系の健康障害と看護	内分泌系の構造・機能	
18		内分泌系の主要症状のアセスメントと看護問題の明確化	
19		内分泌系に関するケア技術の実際	
20	血液・免疫系の健康障害と看護	血液・免疫系の構造・機能	
21		血液・免疫系の主要症状のアセスメントと看護問題の明確化	
22		血液・免疫系に関するケア技術の実際	
23	脳神経系の健康障害と看護	脳神経系の構造・機能	
24		脳神経系の主要症状のアセスメントと看護問題の明確化	
25		脳神経系に関するケア技術の実際	
26	手術を受ける子どもの看護	発達段階各期における子どもの手術の特徴	
		手術を受ける子どものアセスメントと看護	
		ケア技術の実際	
27	予後不良な子どもと家族のケア理念とアプローチ	家族のケア理念と家族理解へのアプローチ	
		子どもと家族のケーススタディ	
28	予後不良な子どものケア	子どもの身体的緩和ケア	
		子どもの生活行動上の変化とケア	
		看護の倫理的判断とインフォームドコンセント	
29	家族のグリーフワーク	家族の子どもとの死別体験	
		家族のグリーフワーク(悲嘆作業)	
30	後期試験		
テキスト、教材、参考書		岡田洋子他著「小児看護学」「小児看護学2」医歯薬出版、田原幸子編著「予後不良な子どもの看護」メヂカルフレンド社	

授 業 科 目 名	小児の健康障害と看護	担 当 教 官	中垣紀子
対 象 学 生	2学年	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1単位	必 修	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1	子どものヘルスアセスメント	対象把握の実際 ヘルスアセスメントの実際	
2			
3	基本的な日常生活援助技術	生活援助の基本的な考え方	
4		食事	
5		排泄 睡眠・休息 清潔	
6	遊びと学習の援助	遊びの援助	
7		学習の援助	
8	子どもの事故防止と安全	子どもの健康問題に関わる事故についての考え方 子どもの事故防止対策	
9	外来における看護	外来機能の概要 外来看護の役割・機能	
10	子どもと家族のヘルスプロモーションと健康教育・患児教育	健康教育・患児教育の目的	
11		健康教育・患児教育のプロセス	
12	子どもの在宅ケアに求められる看護	在宅ケアにおける子ども・家族への支援	
13		在宅で家族が行うケアを支える看護	
14			
15	試験		
テキスト、教材、参考書		岡田洋子他著「小児看護学」「小児看護学2」医歯薬出版	

授 業 科 目 名	小児看護学特講	担 当 教 官	中垣紀子
対 象 学 生	2学年	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1単位	選 択	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1	看護過程	小児看護における看護過程の導入	
2		課題:事例展開 (発達段階別・経過別・器官系別を組み入れた事例をグループワークで行う)	
3			
4			
5			
6			
7		各グループの発表 まとめ	
テキスト、教材、参考書		岡田洋子他著「小児看護学」「小児看護学2」医歯薬出版	

授 業 科 目 名	母性看護学の基礎	担 当 教 官	石沢敦子
対 象 学 生	1 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	後 期
単 位	1 単 位	必 修	教 室 名
回	講 義 題 目	内 容	
1	母性看護の概念	母性とは 母性看護とは	
2 ~ 4	人間の性と生殖	性と生殖の概念 セクシャリティの分化と発達 生殖器の解剖 外性器・中性器・骨盤・男性性器の解剖 性機能の生理 卵巣の周期性変化・子宮の周期性変化 月経・性ホルモン・他 向老期の女性の看護 更年期・老年期の身体的・精神的特徴	
5 6	生殖器疾患の理解	良性腫瘍と悪性腫瘍 子宮外妊娠 性感染症	
7	母性の特徴	母性の心理 母性行動と母子関係	
8 9	母性看護の沿革と現状	母性看護の変遷と諸外国の現状 母性看護の現状と動向 母性看護に関する組織と法律 母性看護の場と職種	
10 11	女性のライフステージにおける看護	思春期 思春期の特徴 初経準備教育 母性の発達を促す看護 成熟期 結婚に関する指導 家族計画指導	
12 ~ 14	母性看護の技術	事例を通して看護過程を学ぶ 看護過程・保健指導 まとめ	
15	試験		
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座 「母性看護学」 1 医学書院 系統看護学講座 「成人看護学 8」 女性生殖器疾患患者の看護 医学書院	

授業科目名	母性の健康障害と看護	担当教官	石沢敦子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	正常妊娠	正常妊娠の身体的特徴・心理・社会的特徴を学ぶ	
2		妊娠の定義・妊娠の生理・母体の妊娠による生理的变化 胎児の健康と発育状態の診断・妊婦の心理・社会的特性 ハイリスク妊娠の看護	
3	妊娠の看護と保健指導	妊娠の健康診査と妊婦診察	
4		保健指導	
5		マイナートラブルへの対応	
6	正常分娩と産婦の看護	正常な分娩経過と産婦看護を学ぶ	
7		分娩の3要素・分娩の機序・分娩経過	
8		産婦の理解	
9		分娩経過とその看護 分娩時の異常と看護	
10	産科病棟の管理	産科病棟の特徴を学ぶ	
11	正常産褥と褥婦の看護	正常産褥の身体的・心理・社会的特徴を学ぶ	
12		身体的変化と褥婦の看護	
13		母子相互作用 褥婦と家族及び社会 産褥時期の異常と看護	
14	まとめ		
15	中間試験		
16	新生児の看護	新生児の身体的特徴とその看護を学ぶ	
17		呼吸・循環・腎臓・消化器・肝臓 正常経過の新生児の看護 新生児の異常と看護	
18	事例による看護過程の展開	事例を通して看護過程の展開を学ぶ	
19		母性看護における情報の分析・アセスメント	
20		看護問題の抽出・計画立案・実施・評価	
21		正常経過をたどった初産婦・経産婦の事例検討	
22	新生児看護演習	新生児の沐浴 新生児の身体計測	
27		授乳指導	
28	妊婦看護演習	骨盤外計測・腹囲・子宮底触診法・児心音の聴取	
29	まとめ	妊婦体操	
30	試験		
テキスト・教材・参考書		統看護学講座「母性看護学」2 医学書院	

授業科目名	母性の健康障害と看護	担当教官	石沢敦子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期
単位	1単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1	ハイリスク妊娠	ハイリスク因子について学び、スクリーニングの必要性と意義を考える (ハイリスクの定義・ハイリスク因子)	
2	異常妊娠	異常妊娠の病態・症状・診断・治療・胎児への影響について学ぶ	
3		(母体の偶発全身疾患・偶発性器疾患・胎児及び胎児付属物の異常・妊娠持	
4		続期間の異常・妊娠中の感染症・胎児の発育異常・胎児の先天性異常ほか)	
5		不妊症の原因と検査・診断・治療について学ぶ	
6	ハイリスク及び異常分娩	ハイリスク状態・異常分娩の原因・症状・診断・治療・胎児への影響について学	
7		ぶ (母体の異常・胎児及びその付属物の異常・分娩時の損傷・分娩時の異常出	
8		血・分娩ショック・感染症)	
9	産科手術 異常産褥	帝王切開術について学ぶ	
10		産褥期に多い疾患の原因・症状・診断・治療について学ぶ	
11	ハイリスク及び異常新生児	(産褥熱・性器の異常・泌尿器感染症・乳房の異常・合併症・産後に発生する精	
12		神障害他)	
13		ハイリスク状態の新生児について学ぶ 新生児期に起きる疾患の病態と治療について学ぶ	
14	女性生殖器疾患	(低出生体重児・新生児仮死・分娩外傷・新生児の黄疸・感染症)	
15		生殖器に起きる疾患の病態・検査・診断・治療について学ぶ (子宮ガン・子宮筋腫・更年期障害・感染症・子宮内膜症他)	
15	試験		
テキスト、教材、参考書		・系統看護学講座「母性看護学」2 医学書院 ・系統看護学講座「女性生殖器疾患」 医学書院	

授 業 科 目 名	母性看護学特講	担 当 教 官	高木タカ子
対 象 学 生	2学年	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1単位	選 択	
回	講 義 題 目	内 容	
1	たばこ・お酒と健康	「たばこ」に含まれる物質と、それによって起こる病気、伏流煙の害、「アルコール」の作用と依存症、病気などについて調べ健康な生活を送るにはどうすればよいかを考える。	
2	薬物乱用と健康	薬物の種類と、それによって引き起こされる悪い影響、薬物の誘惑などから身を守り健康的な生活をするにはどうするか。	
3	食事と運動と健康	何をどれだけ必要としているのか。必要な栄養素、それが代謝される過程、水分の必要量、カルシウムの摂取と骨粗鬆症、運動のエネルギー源などについて学習し自分の生活を振りかえる。	
4	結婚・離婚	結婚・離婚の実態を知る。その意義や問題となることは何か、などについて調べてみよう。	
5	妊娠と妊娠中絶・避妊	若年の妊娠と妊娠中絶について何が問題かを学習する。また避妊の必要性を認識し、その効果的な使用方法を学習する。	
6	性行為感染症と受診	性行為感染症とはどんな病気か。その種類と症状を学習し治療法に基づいた看護・指導法を学習する。	
7	不妊とその対策	不妊の実態を知る。治療法を学ぶとともに不妊状態にある人の思いについて学習しよう。	
8	新エンジェルプランについて学習しよう。		
		備考:このクラスは、徹底的にグループ学習を行います。チームメンバー、チームリーダーの役割を果たせる学生の参加を望んでいます。	
テキスト、教材、参考書			

授業科目名	精神看護学の基礎	担当教官	田村文子
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	後期
単位	1単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1 2	精神保健看護の歴史的変遷	精神障害者の処遇と精神保健看護について欧米、我が国の歴史的変遷を概観する。また、精神保健福祉活動の動向についても学習する	
3 4	心の健康	心(精神)の健康とは何かについて考える。心の健康に影響する要因をあげ、精神保健の意義について理解できる。心の健康を捉える概念として、(1)正常と異常、(2)精神と身体、(3)発達論の視点から考える	
5 6	心の発達と健康	人のライフサイクル(乳児期・幼児期・児童期・青年期・成人期・老年期)における発達課題について概説する。家庭・学校・職場・地域などの環境と人間関係が心の健康・不健康(虐待、家庭内暴力、不登校、校内暴力、テクノストレス、燃え尽き症候群等)に及ぼす影響について学習する	
7 8	ストレスと適応	ストレスは環境(外界)からの刺激により引き起こされる。セリエによるストレス、ストレスラー、適応について学習する。現代社会のさまざまな心の健康問題とストレスに適応していくためのウェルビーイング well-being(心身のよりよい状態)について考える	
9	ストレスコーピング	ストレスに対するさまざまなコーピング法(ストレス対処法)について概説する。また、学生自身が体験しているストレスと対処法について発表しあう	
10	セルフケア理論	オレム、アンダーウッドによるセルフケア理論を用いて精神障害者のセルフケア活動について考える	
11 12	精神保健看護の位置づけ、機能	カリキュラム改正と精神保健看護学の位置付けについて概説する。また、精神の健康問題をもつ人々の不安や苦痛の軽減、その成長や自立を高めるための精神保健看護の機能と役割、チーム医療について学習する	
13 14	精神障害者福祉の動向	これまで精神障害者は多くのハンディキャップ(社会的不利益)を受けてきた。1995年の「精神保健および精神障害者福祉に関する法律」(精神保健福祉法)で精神障害者の真のノーマライゼーションの実現がめざされるようになった。精神障害者と社会参加について概説する	
15	まとめ	まとめ	
テキスト、教材、参考書		佐藤壹三 :新版看護学全書 35 巻 精神看護学(1)メヂカルフレンド社 随時、関連資料を配布	

授 業 科 目 名	精神の健康障害と看護	担 当 教 官	中村悦子
対 象 学 生	2学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	後 期
単 位	2単位	必 修 ・ 選 択	教 室 名
回	講 義 題 目	内 容	
1 ~ 3	精神保健看護の基本	精神障害者が理解されてきた歴史と精神科看護の変遷について説明する。精神保健法の要旨、看護者に求められる資質、精神障害者とのコミュニケーションの特徴、患者-看護者関係、観察のポイント等について説明する	
4 ~ 7	精神分裂病患者の看護	精神分裂病のさまざまな状態(幻覚・妄想、無為自閉、拒絶、昏迷、自傷行為、攻撃、離院)にある患者に対する援助の方法について説明する。精神分裂病の急性期、慢性期にある患者に対する援助の方法について説明する	
8 9	感情障害患者の看護	軽度、重度うつ状態および躁状態にある患者にみられる身体症状(不眠、食欲不振等)および精神症状(抑うつ、不安などの感情障害、昏迷、抑制などの意欲・行動障害等)について事例を通して説明する	
10 11	てんかん患者の看護	てんかんのさまざまな発作(大発作、重積発作、小発作など)に対する看護援助および日常生活指導について説明する	
12 13	神経症患者の看護	神経症(ヒステリー、摂食障害、不登校等)の看護援助について事例を通して概説する	
14 15	ICU 症候群、リエゾン精神科看護	ICU・CCU 等における術後管理の過程でみられる特異な精神障害である ICU 症候群について概説する。精神的危機が生じる医療・看護の中で精神看護的知識や技術を基盤とした助言を行い、患者-看護者関係を築くためのコンサルタントをするリエゾン精神科看護を概説する	
16 17	社会復帰活動と看護	社会復帰活動(作業療法・レクリエーション療法・生活指導・SST)の歴史的変遷および看護活動について説明する。また、精神科デイ・ケアの目的と活動の実際について説明する	
18 19	事例展開	事例(精神分裂病、うつ病事例)を用いた看護過程の展開 :グループワークと発表により看護診断について学習する	
20 ~ 28		発表とまとめ	
テキスト、教材、参考書		新版看護学全書 36 精神看護学(2)メヂカルフレンド社 (参)川野雅資:精神障害者のクリニカルケア メヂカルフレンド社 1998 Gail Wiscarz Stuart et al:神郡博、田村文子他訳:精神看護学の新しい展開 医学書院 MYW,1997 M.Townsend:神郡博、田村文子他訳:精神科領域の看護診断、日総研出版、1990 新井治子編:看護データブック、医学書院、最新版	

授業科目名	精神の健康障害と看護	担当教官	中村悦子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期
単位	1単位	必修	教室名
回	講義題目	内 容	
1 2	精神分裂病	精神障害の概念の変遷、精神障害の分類法(従来分類、国際的分類:ICD-10、DSM-IV)について説明する。また、現在の精神科治療の場は、病院から地域へとその中心を移そうとしている。入院患者の60%を占める精神分裂病の概念、症状、診断、病型、治療(薬物療法、精神療法、社会復帰療法)について概説する	
3 4	躁うつ病	分裂病と並ぶ内因性精神病の躁うつ病の概念、症状、診断(単極型感情障害、双極型感情障害)、病院、(性格要因、生物学的要因、環境要因等)、治療(薬物療法、電撃療法)について概説する	
5 6	神経症	精神的原因(心因)により生じる心身の機能障害である神経症の概念、神経症発症のメカニズム、性格と防衛機制、状態像、発症状況による分類、治療(精神療法(支持療法、表現療法、洞察療法、訓練療法、行動療法)および薬物療法)について概説する	
7 8	児童精神医学	心身の成長発達段階にある小児の精神医学が精神医療の独自の分野として発展していくことが社会的関心を集めている。児童・思春期の精神障害について子ども、家族、社会的環境要因の視点から考える。発達障害(発達遅滞、自閉症等)、神経症的障害(不登校、摂食障害等)、精神病的障害(精神分裂病、躁うつ病)について概説する	
9	てんかん	意識障害とけいれん発作を主徴とする慢性脳疾患であるてんかんの原因による分類(真性、症候性てんかん)、発作型による分類(部分発作、全般発作等)、検査、治療および精神症状について概説する	
10 11	老年期精神障害 (痴呆)	初老期・老年期の精神障害の痴呆性疾患(アルツハイマー型痴呆、脳血管性痴呆等)について、痴呆の概念、症状、検査等について概説する	
12 13	脳器質・症状精神病	脳器質性精神病(脳腫瘍、脳炎、進行麻痺)および症状精神病(アルコール依存、薬物乱用の身体症状、精神症状、治療)について概説する	
14 15	物質関連障害 薬物療法	物質乱用による依存、嗜癖について概説する(アルコール、薬物など) 精神科領域で用いられる薬物療法の主作用・副作用、看護の観察のポイントについて概説する	
テキスト、教材、参考書		新版看護学全書 36 精神看護学(2)メヂカルフレンド社 G.W.Stuart et al:神郡博、田村文子他訳:精神看護の新しい展開 医学書院、1998 M.Townsend:神郡博、田村文子他訳:精神科領域の看護診断、日総研出版、1990	

授 業 科 目 名	精神看護学特講	担 当 教 官	田村文子
対 象 学 生	2 学年	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1 単位	選 択	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1	精神保健福祉活動	精神障害者観の変遷を法的側面(精神衛生法や精神保健福祉法など)からとりあげる	
2	リエゾン精神看護	精神科リエゾン看護の概略とその実践について文献抄読を中心に学習する	
3	”	”	
4	看護とストレス	看護の場のストレスについて考える	
5	PTSD	PTSD(Post Traumatic Stress Disorder:心的外傷後ストレス障害) に関する文献を抄読し、こころのケアについて学習する	
6			
7	社会的ひきこもり	最近の社会問題となっているひきこもりについて学習する	
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	看護研究	担 当 教 員	内藤和美
対 象 学 生	2 学年	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1 単位	必 修	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1	研究ということ(1)	研究ということ、研究の目的、研究の種類	
2	研究ということ(2)	論文の種類、文献(種類、検索、入手、整理)	
3	研究論文の構成と書き方(1)	標題、はじめに、対象と方法、結果、考察、おわりに	
4	研究論文の構成と書き方(2)	論文実例を使った確認	
5	実態調査(1)	調査研究の目的と特徴、調査研究のいろいろ、基礎としての実態調査、	
6	実態調査(2)	実態調査の進め方 論文実例を読む	
7	事例研究(1)	事例研究の目的と特徴、事例研究のいろいろ、事例研究の進め方	
8	事例研究(2)	論文実例を読む	
9	看護研究 について	看護研究 のオリエンテーションと相談	
10-13	群馬県看護学生 看護研究発表会参加	参加、レポート作成	
14-15	看護研究 発表会参加	参加、レポート作成	
テキスト、教材、参考書		プリントと資料による	

授 業 科 目 名	生命倫理	担 当 教 官	村上隆夫
対 象 学 生	3学年	学期及び曜日・時限	前期(集中講義)
単 位	1単位	必 修	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1	生命倫理序論 古代哲学における生命と身体	ヒポクラテスの誓いから現代の生命倫理学の形成まで概観 原始社会、未開社会における生命・身体観から古代哲学の心身二元論への発展	
2	近代哲学における生命と身体 伝統的社会における死と葬送	デカルトの哲学と近代医学との関連 F. アリエス、J.J. バッハーオーフェンらによる原始社会および伝統的社会における死の様相の説明を紹介する	
3	近代社会における死 疎外される身体と加工される身体	F. アリエスによる近代的な死の様相の説明を紹介し、M. フーコーによる近代的臨床医学の形成の説明を紹介する 人間の身体の特異性と身体加工の歴史について	
4	近代的所有権と身体 身体は誰のものか	身体の両義性および人格と身体との関係について 脳死と臓器移植をめぐる倫理的諸問題について	
5	近代的人権と医療 人間が人間になるのはいつからか	医療における人格の問題およびインフォームド・コンセントについて 妊娠中絶と新生児殺しをめぐる倫理的諸問題について	
6	人間が人間でなくなるのはいつからか 子どもは誰のものか	安楽死と尊厳死をめぐる倫理的諸問題について 人工受精・遺伝子操作・生殖技術をめぐる倫理的諸問題について	
7	医療における人間関係 医療行為と正義	医療関係者と患者との関係をめぐる倫理的諸問題について 医療資源の分配原理をめぐる倫理的諸問題について	
8	動物の生存権	生命倫理学と環境倫理学との関連について	
テキスト、教材、参考書		レジュメを配布する	

授 業 科 目 名	国際保健医療協力	担 当 教 官	矢嶋和江
対 象 学 生	3学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前期集中
単 位	1単位	選 択	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1	国際協力とは	国際協力の考え方の変遷	
2		日本の果たしてきた国際協力 保健医療分野における国際協力 医療協力の歴史的経過を概観し、医療協力の現状と今後の課題について考える。	
3	母子保健とジェンダー	1. 途上国と先進国に於ける母子保健の現状と今後の課題 2. 伝統的医療と民族としての慣習的医療	
4		女性と子供の健康に関する人権問題	
5	国際協力に求められる能力	国際協力のイメージと実際 看護職の業務と実際 開発途上国で求められる看護婦(士)の資質	
6	開発途上国における協力活動の実践例	1. 青年海外協力隊の活動事例 * 2. 民間の医療協力の活動事例(外部講師) 3. 戦争と医療協力: 難民キャンプにおける活動 4. 国際緊急援助隊の活動事例	
7	まとめ	開発と豊かさからみえるもの、国際協力の意義を考える GW 資料「世界がもし100人の村だったら」 * 事前にプリントを配布しGWしたものを発表	
	* 協力活動の実践例 (外部講師依頼予定)	2. 民間の医療協力の活動事例	
テキスト、教材、参考書		医学書院「国際看護学入門」	

授業科目名	歯と健康	担当教官	小林圭一
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	後期
単位	1単位	選択	教室名
回	講義題目	内 容	
1	総論	レポート作成のための説明、質疑応答	
2	口腔解剖		
3	歯の役割		
4	歯科医療とは		
5	う蝕		
6	う蝕予防法		
7	歯周疾患		
8	顎関節疾患		
9	口腔軟組織の疾患		
10	顔面、頸部の疾患		
11	予備		
12	看護における口腔ケア		
13	〃		
14	〃		
15			
テキスト、教材、参考書		成人看護学 14 歯・口腔疾患患者の看護	

授 業 科 目 名	ボランティア活動	担 当 教 官	近藤照彦
対 象 学 生	1・2 学年	学期及び曜日・時限	通年
単 位	1単位	選択	教室名
回	講 義 題 目	内 容	
1	オリエンテーション	教官紹介・ボランティア活動について、活動記録簿、単位認定について	
2	ボランティア活動		
3	＼		
4	＼		
5	＼		
6	＼		
7	ミーティング、経過報告	集合、経過報告、今後の課題	
8	ボランティア活動		
9	＼	集合、報告会、成果発表 評価、ボランティア活動10回、成果発表にて認定	
10	＼		
11	＼		
12	＼		
テキスト、教材、参考書		「大学とボランティア」内外学生センター ￥2000	